

ふしんしゃのおねえさん ～ふわふわおねえさんの夜這い系初恋凌辱～

第1話 しらないひとからのでんわにでない

☆明らかによそ行きの、本人とはわからない声で、「ぼくくん」の家に電話をかけてくるおねえさん。当たり障りのない用事を装い、それとなく電話の相手を探る。

(00:07)

……もしもしー、あの、先月の水道料金の件でお電話さしあげたんですが、お電話をお受けいただいた方は……あら、お子さんかな？

☆電話に出たのが「ぼくくん」とわかると、おねえさんは思わず喉を噎らせてしまう。注意深く保護者の不在を確かめ、猫なで声で本題を切り出す。

(00:25)

うん、うん、あの家、子供は一人、ってことは、今話してるのは、絶対。ぼくくんだあ……う`♡
あ、ごめんなさい、かわいいお声が聞こえてきたのでえ……ふふ、ねえ、ぼく、今うちに、お父さんやお母さん、大人の方はいらっしゃらないかな？ ほんとう？ お留守番なの？ すごーい、偉いねえ♡ しばらく帰ってこない？ ほんとうは電話のそばで聞き耳立ててるとか、ない？
えー、絶対だよ？ 約束♡ じゃあ、ちょっとお姉さんとお話ししよっか♡

(01:34)

ねえ、ねえ……ぼくくんはあ、今、何色のおぱんつ、はいてるのかな♡

☆おねえさんは、答えを待たずして息を荒くしはじめる。おねえさんの口調に切迫したものが混じり、少しずつ情欲に思考を塗り潰されていく。

(01:49)

……あれ、聞こえなかったかな♡ おねえさん、どんなおぱんつはいてるか教えて、って聞いているよ♡ つはあ、はあつ、ふ、ふふ♡ なんで、じゃない♡ 大人が聞いているんだからすぐ答えなさい♡
ほらあ、ぼくくんは、ど～んなえっちな布でおちんちん♡ たまたま♡ きゅっきゅ～っ♡ って、包んじやってるのかな♡ こども専用の真っ白ブリーフでぴっちり♡ 大事なところを隠してるの、それとも、背伸びしてトランクスなんかはいて、おちんちんすーすーする感覚でちょっと内股になっちゃったりしてるの……♡

☆答えを得た嬉しさのあまり、受話器を握る手に力が入るおねえさん。聞こえてしまうくらいの音量で、ただし子供にはわからない露骨な言葉で、独り言を漏らす。

(02:38)

.....あ～～♡ そうなんだあ、ぼくくんのおぱんつ、そんななんだあ♡ ふへ、え♡ あ～チンポ揉み
捗る♡ 絶対明日おんなじの買いに行こ♡ 買い占めて毎日かっぴかぴになるまでシコロ♡ 成
人女性用のサイズとかあるわけないけど、うわっ、うわ、うわ、デカマラ詰めこんでぎぢぢい
.....♡ あ、ううん、なんでもないよお♡ 教えてくれてありがとう♡

☆おねえさんは奇妙にひね媚びる声で、「ぼくくん」に次の要求をもちかける。見えないのをいい
ことに、もぞもぞと腿をすり合わせ始める。

(03:28)

それでね、えひひっ、ぼくくん♡ かっこいいおぱんつ履いてるぼくくんにい、もっとかっこよ～くな
れるおまじないを教え.....あっ、そ、そうだあ♡ そう、おねえさん、ぼくくんのお母さんに、ぼくくん
のおちんちんをかっこよくしてあげてください、って頼まれたからあ♡ うゝ、ふっ♡ そ、うう♡ おぱ
んつ、おちん、ちん♡ ふーっ、ふう、一つ.....おちんちん、出して♡ おズボンのチャックかちやか
ちや外して、おぱんつ下ろしておちんちん出して♡ なんてっ、おねえさんはもう、出してるよ♡ ぼ
くくんも、ほら♡

☆わずかな衣擦れの音にさえ、すでに十分膨張したペニスを持ち上げるおねえさん。膝を震わ
せ、声がつられて不安定に揺らぐ。

(04:32)

おい、おい、おいつ♡ なんだ、このがさがさ言ってる音、おお♡ 脱いでんのか、おぱんつ下ろし
てんのか♡ ひっ、ひいい♡ 天才♡ こんなちっちゃえ年のくせして♡ ちんちんぷるぷるストリップ
でふたなり女のデカチンポガチバキに勃起させる才能がある、う～っ♡ おっおっお、おゝ♡ これ
すっご、太もも真ん中ぶら下げたキンタマ袋お♡ 下からたぶたぶ持ち上げたら、重たっ、ヤバ、
中身♡ ネバ汁生殖欲求詰まりすぎ、いひ.....～っ♡

☆おねえさんは興奮に喉を引きつらせ、「ぼくくん」ににやにやと語りかける。受話器を持っていな
いほうの手が、強い意志でペニスへと伸びる。

(05:27)

あゝ♡ ぼく、くん♡ おぱんつ脱げた、かな♡ うひ♡ おちんちん、お、おうちの中で丸出しにし
ちゃってるんだあ♡ かっこい～い♡ それ、っでえ♡ おねえさん知ってるんだけど、ぼくくん.....お
ちんちん、「ほうけい」でしょ♡ やだ♡ ぼくくんのちんちんは未使用ぷりぷりお皮すっぽりうちに
飾りたいかわいいちんちんじゃなきゃやだっ♡ 死ぬ♡ 剥けてたらおねえさん死ぬっ♡ 包茎♡
包茎♡ 包、茎い.....うう、～っ♡

(06:18)

っは、あえ、なんでもないよ♡ あのね～♡ ぼくくんみたいな「ほうけい」だと、かっこわるいし、だ
さいし、さいていだし、お病氣にもなっちゃうんだよお♡ 怖いねえ♡ はっ、はへ、えゝ♡ 大丈夫、っ
♡ おねえさんが手伝ってあげる、から、おちんちん剥いちゃお♡ うん、うん、おねえさんもいつ

しょにおちんちん剥く、からね♡ んへ♡ やった、あ♡ 合法的にぼくんの前でチンポ握る口実
ゲット、お～♡ まあおねえさんは♡ とっくにズル剥けオナ焼け黒グロチンポ♡ なんだけど、うひ
♡

☆自らの言葉のまま「ぼくくん」の幼いペニスを露莖させる感動で混乱するおねえさん。自分のペ
ニスにさえ見当違いな怒りをぶつけ、浅ましく悶える。

(07:16)

ほら、おちんちんの、できるだけ先っぽのほうをきゅっと握って～……きゅっ♡ へ、へんだよね♡
おしっこときはそんなことしない、もん、ねえ♡ でも、そのままおてて、おなかのほうに引っ
張って～……あっあっすごい、皮がぬる～って伸びて、ねっ、ねっ、おちんちんのち～っちゃい段
差乗り越えてもっと引っ張ったらどうなっちゃう？ わあ♡ ぼくくん、おちんちんのまっかな先っちょ
が見えてきた♡ いくよ♡ おちんちん剥くよ♡ 大人のオチンポになるよ、せーの、むきい～～っ♡

(08:14)

え♡ え♡ え♡ 今ぼくくん「んっ♡」って言った♡ おちんちんはじめて性的快感覺えて半熟オチ
ンポ初剥けっ♡ ぐう、っっ♡ 年上女のキンタマイラつかせるのうますぎりゅっ♡ うああ睾丸だけ
上がりまくってだらしな垂れキン袋ん中でべちべちぶつかりまくるっ♡ う～っ♡ なんで私のちん
ちん剥けてんだよ、っぐ♡ ぼくくんといっしょにズル剥け～♡ ってして生ぐっせえ不潔チンポ臭で
濃縮オス汁ぶっこかせろっ、この、おお、お♡

☆慌てて整えた呼吸のせいで、おねえさんの声が奇妙な痙攣を帯びる。いたいけな男児を淫悦
に導く背徳で、ますます息は詰まる。

(09:01)

……んっ♡ はへっ、へ、へえ♡ おちんちんの先♡ 初めて見たねえ♡ どんな気分？ くすぐっ
たい？ そうだね、まだまだオチンポ遊びはじめてだもんねえ♡ それじゃ、もう一回♡ ぐにく
に♡ っってお皮伸ばして、「ほうけい」に戻しちゃう……

(09:32)

ううん、今はね、おちんちんさんが～、剥けちゃった♡ ってびっくりしてるから、何回も剥いて、
かぶせて、おちんちん剥けるの怖くないよー♡ 平気だよー♡ って教えてあげるのお……♡

☆おねえさんは矢継ぎ早に指示を出し、「ぼくくん」を無意識の自慰に誘う。生柔らかいペニスの
剥けるさまを想像して、情欲がちらちらと燃える。

(09:54)

剥いて♡ 戻して♡ む～いて♡ もどして♡ ぼくくんの指で、おちんちんの皮あ、くにゅ、っはっ、
くにゅ、っふふ♡ う♡ うわ、ああ、あは～っ♡ 無垢なオチンポに皮オナ教えちゃってる、う♡ あ
～あ♡ かわいそ♡ 最初にのびのびチン皮いじりなんて覚えたら、あっという間に先っぽる

んって垂れた巾着オチンポになっちゃうね♡ んっ♡ ほら、指止めないで、もっとむきむき♡ 繰り返して大人才チンポになろっ、ふふふ♡

☆電話越しに未熟な勃起の気配を感じ取り、おねえさんは甘ったるい息を吐いて笑む。「勃起」の言葉だけで昂る青いペニスを、煽情的に誘う。

(10:44)

……え～？ どうしたの、おちんちん変なの？ あら、おちんちんの頭が、むく、むく♡ 持ち上がってきちゃったの、うふふ、ふひっ♡ お母さんに聞いてみる？ ぼく、おちんちんがかちかちになっちゃったよお♡ って……うん、それは恥ずかしいよね♡ ね、だから、ぼくんとおねえさんの秘密だよ♡ ぼくんのおちんちんが、「ぼっき」しちゃってること♡ そう♡ おちんちん硬いの、ぼっき、っていうの♡ ぼっき♡ ぼっき♡

☆「ぼくくん」を淫靡な快楽に導きながら、その実いちばん手を早く動かしているおねえさん。唾液と先汁を溢れさせ、野放図な自慰に酔う。

(11:37)

あれ、ぼくくん、あれあれえ♡ おてて止まらなくなっちゃった♡ うふ♡ だってぼくくん、おねえさんがぼっき♡ って言うの聞いてもやもやしてるもんねえ、頭の中♡ いいよ♡ ぼっき♡ っていっぱい言ってあげる♡ だからいっぱいぼっきしておちんちんむきむき体操して♡ そおれ♡ ぼっき♡ ぼっき♡

(12:09)

おっおっお〰お勃起っ♡ 勃起するチンポおっ立つ、うう、っふん♡ ん♡ お〰、っ、おねえさんはあ♡ ぼくくんが媚び媚びメス声でぼっき♡ って言ってくれなくてもこうやって玄関先股間真ん中反り立つぶっといデカチンびんびん体操できるからね♡ おねえさんチンポの勝ちっ♡ っ、はへっ♡ うあ〰♡ はっ♡ チンポかった♡ ふっと♡ なっげ♡ お、っほお～♡

☆おねえさんはしばし恥も外聞もない自慰に耽る。「ぼくくん」の一挙手一投足に劣情を沸き立たせ、貪欲に手をもぞつかせる。

(12:49)

あっ、あ～っ♡ はあはあ言ってる♡ 私のことオナペットにしてズリネタにして、キンタマのおかずにしてちっちゃえチンポしごいて、う〰ふっ♡ ふっ、へええ♡ ナメんなクソガキ♡ おねえさんだってぶるんっ♡ って牛さんみたいなオス欲むずむずキンタマ袋ぶら下げてるもんっ♡ んふーっ♡ ふ、う〰♡ ほら、ほら、いいの？ 揉んじゃうよ♡ おねえさん、ぼくんのせいでたっぷり分泌しちゃったとろとろカウパー線液指に塗りたいくってえ、はあっ♡ いっつも蒸れててしっとり肌触りのデカタマ袋、揉む、っぐ……う♡

(13:36)

うゝ♡ あっダメダメダメ、えへ♡ ふぐ、ぐっ♡ 手のひらはみ出すほど拳、丸ん♡ もちっ♡ っと
ふっくらザーメンタンク直接刺激で、あああ、あ〜っ♡ ぼくくんが精巣活性化させてタミルク溜め
まく、って♡ おほっ♡ 引っ張ったらも〜っと、うほほっ♡ おでぶ陰囊、ひっ♡ ひひ、引っ掴んで、
おっおっ腰落とす♡ 膝が開くっ♡ 股割ってどっしり床踏む太チンポセンズリ、い〜♡ オカズはぼ
くくんでき、無限にシコれるぞっ、おゝ♡ おゝ♡

☆おねえさんはのぼせながらも、「ぼくくん」の声には鋭敏に反応する。柔和な態度を取り繕いつ
つ、隠れるようにペニスをいじくる。

(14:28)

んえっ♡ ええ♡ えゝ♡ え？ どうしたのかな、ぼく、くんゝっ♡ あらら、おしっこ出ちやいそうな感
じがするの？ せ、精通う♡ うほっ♡ えへえ、大丈夫っ、それは出してもいいおしっこだからあ♡
へっ♡ へっ♡ だっておねえさんは一日中出しまくってるよ♡ 今も、お、出そっ♡ 人んちのガキ
勝手に精通させる興奮で♡ 熱くてかったいチンポがオスイキ汁、噴ぐ、っぐぐ♡ うーっ♡ だめっ
♡ ぼくくんの精通に合わせておねえさんも本日五回目の精通しゅる、んだから、あうう♡

(15:14)

うんうんっ、だから、ね♡ それもおねえさんとの秘密だから、ほらおちんちんまっすぐでお皮か
ぶせやすい♡ 剥きやすい♡ もっと余り皮にゆこにゆこ♡ して♡ んへ、え♡ ああ〜絶対きよろ
きよろしてる♡ 悪いことしてるのバレないように回り見回して、えゝっへ♡ でも見えないもんなあっ
♡ 電話の向こうでおねえさんがガニ股でチンポ生やしてキンタマ揉んで♡ うゝ♡ ふっ♡ 手のひ
ら裏筋に押し当ててぐりゅ、ぐりゅ♡ っ♡ っへ♡ お上手センズリぶっこいてるのも見えてない、
いゝひ♡

☆「ぼくくん」が絶頂してしまいそうなのをいいことに、甘言を弄して獣欲を満たそうとするおねえさ
ん。もはや優しいお姉さんの擬態は崩れかけている。

(15:58)

あれ♡ もう我慢できないの？ おしっこ出ちゃう？ そお♡ あ、っふふ♡ じゃあぼくくん、おね
えさんといっしょに10から数えて0になったらおしっこしちゃおっか♡ それならおねえさんにおしっ
こするの聞いててもらえるから安心だよ♡ それでいい？ いいよね♡ 0になったらぼくくん
のおちんちんはむずむずおしっこしちゃう♡ は？ ダメ♡ 絶対出して♡ おねえさんに約束しろっ♡
じゃあ、せー、のお♡

☆射精カウントダウンが始まる。「ぼくくん」は自分の意思で数えているように錯覚しているが、実
際はおねえさんのペニスに都合よく、10秒が引き伸ばされる。

(16:39)

じゅーう♡ きゅう♡ きたっ♡ チンポ新品ショタのオナサポ精通カウントダウンっ♡ 数数えても
らって射精するのっ、うゝ〜っ♡ チンポの芯にずんずん来る、マラ竿びんびん暴れてやあ、っ
ぱっ♡ うお♡ オラッ♡ ぼくくんもっとスケベ声出せ♡ うほうほ喘ぎながらちんちんしごいたほう

が絶対きもちいだろがっ♡ っは、はち、なな、うほ、うほ、ほお、～っ♡ キンタマごってりメス種汁
柔らかくしろ♡ 初々しいオナ声でおねえさんのチンポしごけ♡ おおお♡ ぼくんの控えめ喘ぎで
精巢ふにふにマッサージ、いい♡

☆ついにねえさんは「ぼくくん」をも裏切り、自らの射精欲求に耽溺しはじめる。野太い雄の声を聞かれようが気にする余裕もない。

(17:37)

ろおー、く、ううっ♡ お`っくるっ♡ エグい慣れすぎ肉竿摩擦で濡れ濡れチンポ穴♡ からあっ♡
生ぐっせえオナ猿臭♡ 本物おしっこより真っ白シヨンベン出すほうが多い射精中毒メスチンポな
のバレバレの脂っこい匂い振りまいて、あうう`♡ う、～っ♡ なんだこの亀頭♡ 真っ赤赤黒てっ
かてかでよだれ垂らしまくりやがって♡ そ、そんなに受話器の向こうの肉、肉、う♡ 肉穴ほじくり
欲求、ごくっ♡ ぼく、くん……っ♡

☆おねえさんは甘い息遣いで、「ぼくくん」に懇願する。そして「ぼくくん」は与り知ることのできな
い、あまりにも品のない痴態で、一気にのぼりつめる。

(18:23)

ね～～え♡ ぼくくん、ん`っ♡ まだ数えられてるかな？ 残りの5からぜ・ろ♡ までは一気に行く
からね♡ あ～……それでえ♡ おしっこ出るときは、「ぴゅー♡」って言ってほしいのお、おねえさ
ん♡ ん、っふ♡ そう、今から出るおしっこはあ、「ぴゅー♡」って元気よく飛び出すんだよ♡ うん
♡ ゼロ、で、精通、「ぴゅー♡」

(18:58)

えひ、ひひっ♡ そしたらおねえさんはあ、この、「ぴゅー♡」したがつてるドス黒ばきばき肉チン
ポ♡ の、狭あい穴を、お指で……ぐぱっ♡ う`ひっ♡ あっあっ♡ マンコの奥まで種届けるため
にかたくなってるチンポ穴、なのにい`♡ ぐぱっと広げたらザコ射精しかできない♡ あ、ああ、
ぼくくに嘘ついちゃ、う♡ ほ、ほら、ぼくくん♡ ぴゅー♡ だから、ね、イっく、イぐっ、う`♡ ほ
ら、ほら、精通しろ、ろくっ、ごーよんさんに一いち、うあ、ぜろお～～っ♡

☆潰れた嬌声を上げ、絶頂感に浸るおねえさん。押し開けた尿道口から濁精がこぼれ、壮絶な
射精をする。

(19:46)

う`え♡ え`♡ ぜろっ♡ ぜろ♡ ぜえ、ろ、おっ、おほ♡ ぴゅうううふう`～～♡ っ♡ ああああご
めんねぼくくん♡ ぼくくんが精通、っ♡ はじめて尿道にうっすい真っ白おしっこ通してぴゅー
♡ しでるっ、のに、にひっ♡ ごめんねえ～、おねえさ、ん`っ♡ ぴゅーできません♡ ん♡ んん♡
めいっばいくぱあっ♡ したザーメン噴き出し口♡ ぼた♡ ぼた♡ おっもいキンタマミルク、んお、
んお`♡ チンポ踏ん張ってぶっ濃い産み、落としてごめん、ねえ`へっ♡

☆おねえさんはふと受話器を離し、あろうことか汁を噴きこぼし続ける自らのペニスに近づける。「ぼくくん」がそれを聞いていると思うと、背筋を引きつらせて悦んでしまう。

(20:45)

お♡ ほら、ほらぼくくん聞いてっ♡ おねえさん、お耳から受話器離して……うふ、ふひっ♡

(21:08)

ひ、い♡ 聞こえたかなっ♡ ぶっとい女の子巨根がぶるぶる震えて♡ 塊お精子真下に落としてる音♡ おねえさん、おしっこも下手くそなのっ♡ 下手くそだからキンタマ丸ごと縮めてごってりアクメ汁ションベンぶりゅぶりゅそこら中に落として男子トイレのにおいにさせちゃうのっ♡ ふう♡ おい聞いてんのかクソガキ♡ お前のせいでチンポこんな激エロオス種射精キメてんだからな、あ〜っ♡

☆と思うと、「ぼくくん」の思わぬ淫態に気づくおねえさん。にやにや笑いをにじませた怒りの声を漏らし、さらに深い絶頂にのたうつ。

(21:51)

でえ？ おいガキい♡ ガキはちゃんとぴゅーっ♡ ってえ、きもちーおちっこできまちたかあ……え♡ な、にやにやっ、にやにも出ない、って、はああ〜？ あ♡ 見えたっ♡ まっかな剥けたてつるつるちんちん♡ まだお精子出しちゃいけません♡ ってもどかしい精通感覚でサオぱんぱんにして……ふざけん、なっ♡ しゃぶりにえっ♡ いちばんうめえ時期のもぎたてちんちん抜けるくらい吸いつきまくって精子出す前から一生インポにしてやりてええ……おっまたチンイキキマる、っ♡

☆おねえさんはすでに肉竿の上で手を動かし始めている。ペニスがそれに応えて首をもたげ始めると、おねえさんはことさらに「秘密」を強調して電話を切ってしまう。

(22:51)

ん♡ ふっ♡ ああまたチンポおっ立ってきた、んんっ♡ うん、それじゃぼくくん、ねえ♡ おねえさんはシコ、っ♡ んふっ、ご用事があるから電話切るけど、ぼくくんはさっさとおちんちんしまっちゃいなさい♡ ……あ！ それと、この電話とおねえさんのことは、家族の人には絶対ぜ〜ったい言っちゃダメだよ♡ おねえさんとぼくくんの秘密、守れるかな？ は〜い、いいこ♡ もしほかの人に言っちゃったら、ぼくくんのおちんちん取れちゃうかもだから、絶対ひみつ……んふっ♡ それじゃあ……またね、ぼくくんっ♡

第2話 こわいことにあったりみたりしたら、すぐにおとなにしらせる

☆早朝、登校の時間。店のシャッターを開け、ゴミを出しに行こうとするおねえさんのもとに、「ぼくくん」がとぼとぼと寄ってくる。おねえさんはほがらかに声をかける。

(00:01)

うーん、今日も温かくなりそうない天気……いけないいけない、ぼーっとしないでゴミ出しちゃわなきゃ。あ！ ぼくくん、おはよう！ ……あら？ あら、ぼくくん、どうしたの、難しいお顔して。学校で嫌なことでもあったのかな？

☆すかさず小さな身体を抱き留め、深呼吸を促すふりをして自然に「ぼくくん」の匂いを吸いこむおねえさん。「ぼくくん」からは見えないように、頬をとろかして笑う。

(00:33)

はいはい、おねえさんのお胸にいらっしやい……えいっ！ 捕まえちゃったっ。うん、うん、落ち着いて、深呼吸、すう～～……っ、ふ、ふへっ♡ あえ、なんでもない、よお♡ それより、どうしたの？ 学校に遅れちゃわないくらいならだけど、おねえさん、ぼくくんのお話聞きたいな。

☆「ぼくくん」の口から他でもない自らの所業を伝え聞くおねえさん。空とぼけた口調で話を引き出しながら、腰がもぞもぞと落ち着かない。

(01:13)

……電話？ へえ、変な電話がかかってきたの？ はあはあ言ってる女の人に、おぱんつの色を聞かれて、それで……あれ、もしかしてぼくくん、おうちの中でおちんちんまるだし～♡ ってしちゃったのかな？ あら、本当に？ うわあ♡ ぼくくん、えっちなんだあ♡ ふうん、それでえ、女の人の言う通りにおちんちんいじ♡ いじ♡ してたら、硬あくなっちゃって、もーっといじいじして……ぴゅー♡ って♡ えへ♡ おねえさんは、ぼくくんのことならなんでも知ってるんだよお、っ、ん♡

☆おねえさんは「ぼくくん」の芽吹き始めたばかりの性欲を弄ぶように、いたずらっぽくほほえむ。吐息を含んだ声が、耳たぶに吹きかかる。

(02:14)

でも、それで困ってるってことは……あ～～♡ わかったあ♡ ぼくくん、普段からおちんちん遊びするようになったんでしょう♡ 先生のお話を聞くふりして、くにゅくにゅ♡ 宿題でわからない問題に出会っちゃったら、鉛筆をおちんちんに持ち替えて、お皮を剥いて～♡ 戻して～♡ 頭真っ白になっちゃう、ぴゅー♡ が来るまでずっと……♡

☆秘密をひた隠しにしようとする「ぼくくん」をふわふわと問い詰めるおねえさん。一見ほほえましいその光景さえも、おねえさんは劣情の源に変えていく。

(03:05)

ぼくくん♡ ぼくくん♡ おちんちんこしこしするだけじゃ、ないよね♡ 誰か、好きな人のこと考えておちんちんしたほうが、気持ちいいもんねえ……だれ？ ふふっ、ぼくんの好きな人、おねえさんに教えてよお♡ 絶対ひみつにするから♡ あっ、ちょっと、ねっ、ねっ、おねえさんのおめめ見て、教えて……もう、恥ずかしがっちゃって、か～わい♡

☆と、おねえさんは突如大人の余裕を取り戻し、「ぼくくん」を解放する。頭を軽く撫でて見送ると、おねえさんはなぜか持って出たばかりのゴミ袋を抱え、自宅の戸口に向かう。

(04:00)

……うふふ、ごめんごめん、ぼくくん。おねえさんに話してすっきりした？ そう、じゃあ一回ぎゅーってしてあげるから、それで学校、行けるかな？ よーし、偉い子、ぎゅー……っ♡ それ、行ってらっしゃいっ！ あ、学校ではあんまり、おちんちんいじらないほうがいいよ～っ♡ ……よし、行った。

☆おねえさんの顔から笑みが消える。仏頂面のまま不穏な呟きを漏らし、足早に玄関へ歩を進める。

(04:40)

……くそっ……ぼくくん……うゝ、一つ……あっ勃起……犯す……犯してやる、っ……

☆施錠を確認すると、おねえさんはもう抑えきれなくなり、容貌に似合わない欲望が口をついて出る。克明に浮き上がった勃起を玄関扉にこすりつけ、陶然と息を吐き出す。

(04:52)

うゝ♡ ううう♡ はっ、はへっ、鍵閉めたあ♡ おっ、おっおっ、デカチンもうおあずけ限界っ、シコる、玄関でシコるっ♡ うふ、うゝふーっ♡ うお♡ ごめん、ねっ、ぼくくん♡ ぼくくんが思い浮かべてシコ猿っ♡ になってるふわふわおねえさん、は♡ ぼくくんのより何倍もでっけえふってえかってえチンポ♡ ビキつかせてドアに肉サオ押しつけてキンタマたぶたぶ繁殖ヘコ腰振っちゃうチンポ女、なのお、おゝ、～っ♡

☆おねえさんは下劣な言葉で「ぼくくん」の無垢を穢すことそのものに悦びを覚えている。多方向から巧みにペニスを刺激し、鼻息を荒くする。

(05:37)

でもぼくくんもちんちんいっちょ前に勃起っ♡ してたよなああ♡ あうゝ、っふん♡ お気に入りのズリネタがこれ見よがしにデカパイ揺らしてぎゅ～～♡ とかしてくんだもんなあ♡ そんなのちんちんぐいぐい根元から持ち上がるに決まってるっ♡ でもだあめ♡ ぼくくんのちんちんはザ

コ、ざあ〜こ♡ だっておねえさんのチンポが本物だからあ〜♡ 本物チンポの勃起は射精も知らない新品おちんちんと格が違う♡ ぱつぱつキンタマ袋まで服に押しつけるくらいの勃起が本当の勃起、いひひっ♡

☆おねえさんのペニスが先汁を噴き上げる。生地に染みこむ濡れた感触でおねえさんはまた竿を膨らせ、腹筋が痙攣するような太い嬌声を漏らす。

(06:33)

ほらオナニーだっておねえさんのほうが上手〜っ♡ おてて使わずに腰ぐりぐり動かすだけで、うおっ♡ おほっ♡ ひんやりしたドアにあっつい亀頭転がして裏筋ごし、ごしひい♡ はへ、え〜っ♡ おっおっお〜っ♡ おふっ♡ よだれ、ああ〜♡ チンポよだれだらっただら出るぞっ♡ 締まりの悪い尿道穴すぐカウパー漏らす♡ う、っぐ♡ ぐちゅぐちゅいって太マラ発情臭漂わせっ、うへっ♡ へへえ♡ ていうかさっきから漏らしてたっつーのっ♡

(07:24)

このクソガキっ♡ 気づけっ♡ おねえさんのおズボンにく〜っきりバキバキオスシルエツっ♡ カリ首の縁まで浮かび上がらせて、うお、一っ♡ お♡ 布に恥ずかしいシミ広げてあそこがチン穴だ〜♡ ってわかるくらいの濡れメスチンポ♡ 見た瞬間にズボンとパンツ捨ててぷりっぷりショタケツ振って処女も捨てさせてください♡ って懇願するところだろうがっ、んお、っ♡

☆激昂していたかと思えば、ふと締まりのない笑みに眉を垂らすおねえさん。荒々しい自慰から一転、細やかな腰の動きでペニスを擦りつけ始める。

(07:59)

お、う〜っ♡えへ♡ えへ♡ えへへ♡ だいたいぼくくんはあ♡ おねえさんがなんでこんな鼻息はふはふチンポオスになっちゃうのかわかってるのかな♡ あは♡ はあ一っ♡ 見て見て♡ ちゅこちゅこちゅこ♡ ってぼくんのきつきつアナル掘りほぐしてあげる小刻みオチンポドリル♡ うひっ♡ おねえさんこうやってえ、ぼくんとオマンコえっちごっこ♡ する妄想でえ、マラ幹ふと〜くしてキンタマもち〜っ♡ してセンズリ猿になりまくってんだからあ.....♡

☆甘美な視線をゴミ袋に向けると、また硬度を増すおねえさんのペニス。おねえさんは誇らしげな声で、自らのペニスの成した業を並べ立てる。

(08:49)

んふ、っ♡ ほらほら、あのゴミ袋の中身♡ 用心深く二重にして、見えにくくなって中身はあ.....ゼーんぶ、おねえさんのオチンポごしごしティッシュ♡ ザーメン発射筋肉鍛えすぎて四枚も五枚も重ねないとお精子びちっ♡ って貫通しちゃうキンタマ汁ふきふき紙♡ ふひ、っひひ♡ んお〜っ♡ って高らかにアへ声響かせながらブリッジみたいにのけぞりアクメしないとちんちんの奥からイけないから周りにおねえさん種撒き散らかしてますます無駄づかいしちゃうふわふわティッシュ♡ ゴミ袋にい〜っぱい♡

☆おねえさんはふと思いつき、汚濁の詰まったゴミ袋の結び目をほどいてしまう。漏れ出す悪臭に顔をしかめつつ、ペニスは喜ばしげに跳ねている。

(09:33)

全部♡ ぜん、んっ♡ ぜんぶ♡ ぼくんのいろんなえっちなところを想像しながら睾丸どく♡ させた、濃厚精巢汁じゅわじゅわセンズリちり紙.....あっ♡ ふへっ♡ ふへへ♡ ご近所さんにバレないようにきつ〜く縛ったゴミ袋♡ もう一回開けちゃったら.....おっお、っ♡ チンポ落ちて着かない♡ 最初、一枚めえ.....♡ んおっ♡ んひ、もう、臭い♡ 目がかすむ♡ 指、震、える♡ うふ♡ 開ける、開ける開けるかぴかぴティッシュ詰まった袋、開け、っぐ♡

☆饅えた臭気を吸いこみ、おねえさんのかすれた喉から嘆息が漏れる。おねえさんの脳は否応なしに「ぼくん」の像を結び、腰はかくかくと空を切って前後する。

(10:29)

.....ん`お♡ くっせ♡ 臭っ、くせくせやべくっせっ、んおおお`おお.....おっお〜っチン棒おっぎくなるびこびこ震える先汁垂れるオスになる、ん`へへへ、くう〜っせ、っ♡ ああなんだこのにおい♡ んじゅるっ♡ いひ、い〜っ♡ 動物園と生ゴミぐちゃぐちゃ混ぜこした鼻のひんまがる悪臭う.....こんなの出したの誰だよ、っお♡ おっおっお`♡ は〜〜い♡ おねえさんでえす♡ うお♡ うっお♡ 亀頭跳ねさせておりこうチンポがお返事♡

(11:21)

ヤベ、チンポからどっつぴゅ♡ した♡ きたねえ汁なのにめちゃくちゃポツキにびんびんキクぞっ♡ も、もっと近くで嗅ぐ♡ うおティッシュ黄色っ♡ んす、んすー、すう〜っ♡ うっ♡ う`♡ これ♡ くっせえの全部ぼくんで出したっ♡ ぼくんで四六時中オス汁又いてるおねえさんの手作りキンタマエクス、う〜目にしみる♡ ん♡ っふ♡ おねえさん、ぼくんとのごちよぐちよどろどろ性生活思い出して泣いちゃう♡ 泣きシコ腰へこでかくかく腰止まんねっ♡ 生殖ピストン見せつける、う`ふ、ふふふ、っぐっ♡

☆おねえさんは心底楽しそうに声を弾ませる。鼻先でティッシュの山をかき分けるようにして、「ぼくん」との捏造した記憶を掘り起こす。

(12:16)

お`♡ お`っ♡ オスクせえ射精臭脳みそばちばちキメながらぼくんっ♡ ぼくんの思い出掘り出す♡ おっほ♡ このゲル状ザーメンはみ出してるのはぼくんがケツおっぴろげながら告白してくれたときのやつで♡ こっちは結婚式して初夜で一晩中ぱんぱんサカリあったときのやつ、うう`〜っ♡ すごいすごい♡ すぐゴミ箱いっぱいになるから全部三日以内に出したやつのはず、なのに、んひひっ♡ い〜っぱいぼくんパコった記憶があるのすごい♡ おねえさんのキンタマはたらきもの〜っ♡

☆おねえさんは思考のまとまりを自ら手放し、狂態じみて声を上ずらせる。時折引きつるように腰を跳ね上げ、ペニスの硬直快感にたゆたう。

(13:05)

っつかもうこんな、えひひ♡ キンタマ汁しか入ってねーんだから、うえへへ♡ 私のキンタマそのものだろうっ♡ ヤバスケベ、ええへへっ♡ えゝ♡ さっきまでおねえさんっ、ごくっ、ザーメンティッシュ満杯ぱんぱんゴミ出し、して♡ ぼくんの前、にい♡ うゝひっ♡ 両手と股間にぎとぎとこってり豚タマ袋ぶら下げて、お精子ついたおてで、ぼくくんを、ぎゅ、ぎゅう、って、っふううゝ、～っ♡ チンポっ♡ チンポかった♡ ケツが攣るくらいチンポ勃てる、ううっふ♡

☆うわごとめいた調子で二言三言呟くと、たまらずペニスをしごき始めるおねえさん。体勢が崩れ、尻だけ突き上げて前のめりになる。

(13:51)

……し、シコっ♡ シコらなきゃ♡ この気持ちあっついザーメンにしてぼくくに伝えなきゃ♡ あっあっ、ダメ♡ 今四つん這いだからおてで離してお股いじいじ♡ したら、ふひっ♡ 顔が目の前のキンタマ生ゴミに埋まっちゃうのに♡ シコ、シコる手が勝手にチンポに行く♡ サオの直径に合わせて手のひら丸める、あっ顔、顔がザーメンティッシュに、あっあゝっ♡

☆ティッシュの中に倒れこんだたん、おねえさんの整った顔が淫悦に歪む。カエルめいた欲深な呻きを漏らし、手だけが高速で動いている。

(14:25)

んゝ♡ んゝ♡ うゝ♡ っお、っ、くっさ♡ きたねっ♡ あひひ♡ にちゃ♡ っていった♡ ティッシュが糸引いてめちゃくちゃシコれるぞ、お～っ、おゝ♡ ぼくくん、ぼくくんかわいそうなぼくくんっ♡ 憧れのおねえさんがっ♡ こんなにセンズリコキがいのあるブトチン生やしてるなんて、んっぐぐ、う♡ ぼくくんだいすきでっけえおっぱい♡ うつ伏せオナニーのクッション程度に使ってチンポしごいてるなんて知らないでシコってるかわいそうなぼくくんクッソシコれるちんちん先っちょ穴濡れまくるうう、んゝ～っ♡

☆おねえさんは自分でも忘れていた自慰の残滓を発見し、にちゃついた歓声を上げる。空腰のペースが一段上がり、身体ごと声が揺れる。

(15:10)

ん……？ おおゝ、っほ♡ ほほ、お～っ♡ あ～～こりえはっ♡ お宝発見～、あへっ♡ ん、う～♡ くしゃくしゃ黄ばみティッシュの中に♡ いやらしいピンク色♡ ぐたくたに伸びちゃったゴムっ♡ おねえさん使用済みコンドーム見つけ、っ♡ ふおお、おおゝ♡ 私の丸太んぼオチンポに合うサイズがないからむりやり引っ張って伸ばして亀頭にかぶせて♡ うっす～く広がった中身全部にみっちりみっちり生臭キンタマゼリー充填したたっぷりチンポおむっ♡ うおゝ♡ 激シコれるっ、腰もっとなんて振っちゃう、うっ♡

☆甘美な交合を幻視しながら、どこか懇願するような調子で「ぼくん」を呼ぶおねえさん。瞳は淀み、喘息めいた妖しい呼吸を繰り返す。

(15:59)

ねえ～～♡ ねえ♡ ぼくん、っ♡ ん♡ おねえさんいっぱい練習したんだよっ♡ ぼくんに、抱いて♡ って肛門全開おねだりされたら、うひひっ♡ ぷりぷりザーメン袋が勝手に持ち上がったちゃって早漏っ♡ しそうになる、からあ……んあっ♡ でもでもっ♡ ふ、んぐっ♡ ぼくをこんな年で♡ ママにしちゃうの、んへへ♡ かわいそうだからっ、おねえさんチンポ緩めたいの必死で我慢して♡ 先っちょにゴムかぶせて、気持ちいいだけのセックスする予行演習で……どっぴゅ♡ どっぴゅ♡ てえ♡

(16:43)

っひゅっ♡ ひゅう、うう♡ だからっ♡ 抱かせてっ♡ ぼくん、っふ、っふーっ♡ 抱かせろ、おおっ♡ 乳くせえガキの身体ごとマンコ食わ、せろ、おおお♡ ぼくんがおねえさんとおはなししながらおねえさん大好きっつってキュンつかせてるオス♡ マンコおっ♡ おねえさんのふわふわチンポ臭嗅いで甘ったる～いチンポケースのにおい発しちゃうガキマンコ、お♡ おおお、マンコ、マンコ、っひゅっ、ふひゅっ、マンコお、ぼくんっ♡ まん、っこっ♡ オスケツガキケツとろとろマンコ、お～～っ♡

☆おねえさんの淫熱に浮かされた声とは裏腹に、指は冷静にもう一方のゴミ袋を開く。おねえさんはその異常性を疑うこともなく、開いたゴミ袋に股間でのしかかる。

(17:28)

んほ、ほっ♡ ほら見ろクソガキ♡ こうやって、もう一個のゴミ袋、開けて、ほら当然チンポ汁ティッシュでいっぱいのキンタマくっせえ生ゴミ袋お♡ あは、あははっ♡ これお前だから♡ おねえさんのメス種ぱんっぱんに詰めこんではち切れそう♡ ぼくんマンコもこうなるんだからな、オラッ見ろ♡ だいすきなぼくんのマンコなんだからおねえさんはチンポ突っこむ権利ある、っ、っ♡ ぼくんマンコにガン勃起メスマラぶちこむ、ぞっ♡ ん♡ ふっ、せ、せ～の、ばーんっ♡

☆当然ながら、乾燥したティッシュの感触だけが伝わる。それでもおねえさんは自らの局部をぞわぞわと取り巻く疼きに、痴れた笑みで舌をはみ出させてしまう。

(18:14)

ありえ～♡ えへ、えっ♡ ありえりえっ♡ ぼくんのショタマンコお♡ がさがさいって変なのお、お、マンコおっ♡ はあ、～っ、精巢みちみち縮んでキツ、いっ♡ うお、イ、ぎっ♡ 私っ、私何してるんだろう……う、へへっ♡ ぼくんでチンポ勃起でシコってるに決まってん、だろお～～♡ うお、おお、きもちっ♡ 脂っこいザー汁染みこんだティッシュに孕ませ腰振ってちんちんの棒まっすぐびーんっ♡ って勃起っ♡ カリ首分厚い肉オスチンポへこへこ勃起ぎもちい～っ♡

☆おねえさんはあまりにも濃い情欲に塗り潰された言葉を吐き、その淫猥さを肉幹の膨張で表す。喉をねじる断末魔とともに、おねえさんは絶頂を迎える。

(19:09)

うおヤベっ♡ ぼくくんマンコー生懸命肉棒でかき混ぜてイ、っぐ、ぞおっ♡ ふ、う♡ カウパーでふやけたティッシュにまたザーメン無駄撃ちする、う、っぐ、マンコとゴミ袋の区別つかないキンタマ脳精子出すイぐイぐ、～っ♡ うあ、っはっ♡ ぼくくん、ぼくくん出すぞっ♡ おねえさんの動物くっせえ睾丸ぷるぷるゼリーでおなかいっぱいにするぞ、うおほおっ♡ お♡ 種出るっ♡ でけえの出すキンタマひっくり返、るうイぐっ♡ ぐ♡ 出すっチンポ汁ぶっこく出す出す出す、ううぐううう♡

☆おねえさんは爛れた空想にとろけた声で、ゴミ袋の中に放精してしまう。ペニスは本当に性交をしているようにいなき、そのたびにおねえさんに下品な嬌声を出させる。

(20:03)

お♡っ♡ チンポ♡ どぴゅうう～っ♡ うふっ♡ うう♡ ゆるゆるチン穴めくれ射精っ♡ しゃ、せひっ♡ ザーメン濃ゆすぎ、るっ、う♡ こんなもう固体だろみたいなキンタマまるごと搾り汁、♡ 種汁高圧噴射♡ とっ、届かない♡ ぼくくんオマンコの奥に届ける前に激重精液ぼとぼと垂れる、っは、はあ、あ♡っ♡ 自前のせーしにせーし♡ ぶっかけて、イぐっ♡ 変態お姉さんのゴミ袋マンコ中出し射精、うおまた、っひっ、でりゅう♡

☆波が収まると、おねえさんは目頭に涙さえ浮かべて息をつく。精を吐き終わり、奇妙な硬さを保ったペニスの熱さのまま、腰を揺らす。

(21:07)

……あ、あ、チン先、ねとねと粘っこい汁、カメさんに絡みついて、えひひ、クッソキモい感触う♡ うふっ、見て、ねえ見て、ぼくくん、おねえさんこんなにオスとして強いよ♡ ただでさえチンポ臭かった玄関、もう完全に新鮮キンタマミルクの青くっせえ香りでいっぱいになっちゃったあ……ぼくくんめっちゃシコレたああ♡ あ、あ～～……♡ なんでえ、これぼくくんのマンコじゃねえんだろうなあ～♡ なんでこんなに強えデカマラがゴミ袋なんかと嘘セックスしなきゃいけねえんだよ、ああ！？

☆おねえさんの声に宿り始めた凶暴さがふと鳴りを潜め、代わりに必要以上の猫なで声が漏れ聞こえる。かえって狂気を感じさせる静かな声音で、おねえさんは薄くほほえむ。

(22:01)

ふふっ、な～んて、えへ♡ ぼくくん♡ ぼーくくんっ♡ おねえさんさあ～～……おちんちんの先っぽがちゅくちゅく疼いて切ないのお♡ ぼくくんのお尻はどう……犯す♡ おねえさんが犯してあげなきゃ♡ はあ♡ っ、はあ～……♡ ぼくくん♡ ぼくくんは夜、おやすみするとき、お窓の鍵かけてないでしょ、おねえさん知ってるよお……えひひっ♡

第3話 おおきなこえをだしてたすけをよぶ

☆安らかに寝息を立てる「ぼくくん」の部屋の窓からおねえさんが入ってくる。静かながら迷いのない身動きで服を脱ぎ捨て、「ぼくくん」の背側から布団に忍びこむ。

(00:12)

うわ♡ かわいいぼくくん♡ 寝てる♡ ぼくくん頭おかしくなるくらいかわいい♡ ああ……っ♡ 我慢、しないと、なのにつ♡ ぼくくんの寝息オカズにしてチンポさすさすしたい欲っ、オス、欲う、んふっ、でもそんなこと、より、お服っ、ぼくくんの目の前で、お服脱いでぶっといオチンポぶら下げた裸見せちゃう、んしょ……はだかんぼっ♡ そしたら、今度はぼくくんが寝てるおふとんに、近づいて……もうこんなに近くにぼくくん、おふとん背中側からめくってえ……ぴたっ♡

☆おねえさんは素性を伏せるためか、声をひそめて侵入のあいさつをする。「ぼくくん」がぼんやりと意識を取り戻した頃には、すでに全身をおねえさんに抱き締められている。

(01:21)

うわ、体温高あ……♡ あっ、ぼくくん、って呼んだらバレちゃうかな♡ えっと、ぼく、こんばんは一……起きた？ ……どうしたの？ びっくりしてる？ あ、動いたり、声出したりしたら、ダメだよ♡ あやしい人じゃないから、ほら、ぼくのお母さんに頼まれて、おねえさん……おねえちゃん、来たんだよ♡ あ、だから、動かないで、って……んっ♡ もう、ぼくのえっち♡ ぼくが動くと、ぼくをぎゅーっしててるおねえ、ちゃんの、あ♡ おっぱい、ぷにつ♡ えへ……おねえちゃん、はだかんぼなの♡

☆「ぼくくん」の耳元に、吐息まじりの声を流しこむおねえさん。おねえさんは自分の煽情的さに気づいていて、反応してしまう「ぼくくん」の身体に手を伸ばす。

(02:34)

ほら、見えるでしょ、あそこ、おねえちゃんの脱いだお服……そう、おっぱい、ぼくのお腕にたゆたゆた♡ 押しつけちゃってる、あつたかくておまんじゅうみたいに柔らかい、おねえちゃんの、お・っ・ぱ・い♡ ふー……あっ、ぼく、息がはあはあしてるね♡ そしたらこっちも、ぼくのおへそ下、両脚の真ん中、さわさわ……きゅっ♡

☆おねえさんは息を詰まらせる。「ぼくくん」の言葉と連動して身じろぐ小さなペニスの脈に、おねえさんの本性が一瞬顔を覗かせる。

(03:44)

あ、ぴくぴく♡ ぴく、ぴく……ほーら、ぼくの得意技♡ おちんちんおつき膨らませてぴくぴく♡ おねえちゃんのおててに包まれて、またかっこよ〜く、ぴくっ♡ う、おゝ♡ ぼくくんの生ボッキっ♡ 勃起してもちっせえやわらけえかわいいゝ、〜♡ んふ、っ♡ ぼく、っ、でもそれだけじゃないで

しょう♡ ぼく、毎日おちんちん遊びしてるよね♡ お母さんが言ってたよ、ぼくがおちんちんいいじして、気持ちよくなって……ぴゅー♡ ってしてて恥ずかしいです、って♡

☆まだ幼い「ぼくくん」の羞恥心をくすぐる、おねえさんの甘やかな声。舌先にもたつく唾液が、吐息にまでねちっこさを感じさせる。

(04:41)

恥ずかしい？ おちんちんで遊ぶの、恥ずかしいのは知ってるんだあ♡ つは、あ〜っ……どれがいちばん恥ずかしいの？ こっそりおぱんつ下ろしておちんちん剥いたり戻したりしてるはずなのに、ばれちゃってること♡ おちんちんから何も出てこないのに、ぴゅー、って言うともっと気持ちよくなっちゃうこと♡ はあ、あ♡ それとも……ぼくが、今も♡ あったかいおねえちゃんの感触で、ぴんぴんになっちゃったおちんちんで遊びたい♡ って、頭いっぱいになっちゃってることお……♡

☆おねえさんは「ぼくくん」の密やかな罪を暴き、喉を鳴らして悦に浸る。自らの思うままに発情する小さな身体に、忍び笑いがこらえられない。

(05:46)

……いいよ♡ おねえちゃん、おめめつぶっておいてあげるから♡ ぼくくんがおちんちんさわわし始めちゃっても、絶対に気づかない♡ ほおら、ズボン下ろそ？ おぱんつ脱いじゃお♡ おちんちん……握っちゃえ♡ ん、っ♡ ひひっ♡ えっちな声出しちゃっても、おねえちゃんは聞いてないよ♡ ごしごし、ごしごし……んゝ〜〜♡

☆しばらく優越感に浸って「ぼくくん」を見下ろしていたおねえさん。しかし、股ぐらでうねり始めた狂熱に耐えきれず、怒張したペニスを差し出してしまう。

(06:38)

えへ♡ 見て見て、これ♡ ちっせえ身体丸めて股間にむしゃぶりつくみたいに、必死に自分のちんちんダメにしてんの、これ私が教えたの♡ このガキ、頭からっぽでチンポしごいて、バカじゃん♡ ばあ〜か♡ 頭からっぽ、気持ちよさそ〜、に……気持ちいい、バキバキのオチンポ、おしり、まんまるのおしり、絶対、あゝ♡ あっ♡ あ〜〜……♡

(07:30)

……っ、ぼく♡ 一回おちんちんやめよっか♡ ぼく？ ……おいガキ♡ チンポから手え離、せっ♡ あっ♡ おちんちんごと身体びくっ♡ ってして♡ ふー♡ ふう、〜♡ あのね♡ ぼくのおちんちん遊び♡ ダメ♡ 失格♡ そんなのしたらおちんちん取れちゃうよ♡ だから、おねえちゃんが正しい、えっ、ちっ♡ 練習させてあげる、ふふっ♡ ほら、お尻下げて、太ももの間から、にゆるう、〜っ♡

☆おねえさんは突き出したペニスを「ぼくくん」の柔肌に擦りつけ、鼻息を荒くする。腰を引きつらせ、肉竿は硬直する。

(08:22)

うお`、っ♡ ぼくくんあったけ、っ♡ チンポで感じる体温格別、っ♡ ほっ、ほら、おねえちゃんの極太棒状チンポお♡ ぼくのお股から飛び出しちゃった♡ えっ♡ え〜っ♡ 女の子だよお♡ おねえちゃん、おっぱいもオチンポもついてるきもちーメスチンポ女、なのお、おほっ♡

☆おねえさんは「ぼくくん」を自らの胸に強く押し付け、妖しい色香の声で直接的に性交を誘う。「ぼくくん」が知らないのをいいことに、一方的な合意を取り付ける。

(09:01)

.....おいガキ♡ やろっか♡ やろ♡ やるぞ♡ セックスすんぞこのオスガキ♡ あ？ どうせお前セックスなんて知らねえだろ♡ な♡ おねえちゃんがセックス教えてやる♡ ぼく、気持ちいいの好きだよね〜♡ セックスとってもきもちいいよ♡ セックスさせてくれるって言ったら、ぼくのことやさしく食べてあげる♡ やろ♡ ぼく♡ うなずこうね♡ セックスしてください♡ って♡ ほら、うんっ♡

☆おねえさんの豊満な身体の上に引き揚げられてしまうと、「ぼくくん」は浮いてしまっって逃げられない。絶対的優位を確信したおねえさんはますます強欲になる。

(09:57)

わあい♡ 処女マンコ騙して性的合意もらっちゃった♡ じゃあ、セックスの姿勢になろうね♡ いい？ おねえさんのおっぱいにふに〜♡ って抱っこされたまま、いっしょにごろんっして、あおむけでおねえちゃんのお腹に乗っかっちゃう♡ おねえちゃん力つよ〜いから平気だよ♡ はい、二人でえ、ごろ〜んっ♡

(10:33)

ぼ〜く♡ おねえちゃんに乗っかるの、どうかな♡ すごいね♡ おねえちゃんの身体柔らかいお肉ばっかりだもんね♡ ケーキみたいな甘いにおいでおふとんいっぱいになって、たぶたぶおっぱいの上に寝っ転がっちゃって♡ おちんちんぴーんっして元気だね♡ セックスしようね♡ うんっ♡ ん？ んー.....セックス.....セックス.....らぶらぶ、レイプう♡ んお`♡ キンタマずしっ♡ っっておっもいのきた、きたあ、あは♡ レイプ♡ レイプにしちゃお♡ ぼく♡ レイプしていーい？うんっ♡

☆「ぼくくん」に挿入の体勢を整えさせ、痛いほど口角を引き上げるおねえさん。抑えがちな吐息が、その裏の邪なたくらみを予見させる。

(11:29)

ほらぼく、足を持ち上げて、お膝を曲げて.....おちんちん見せびらかすみたいに、ぱかーっって足を開いてね♡ 大丈夫♡ おふとんかぶってるから、ぼくのおちんちんはおねえちゃんだけの秘密♡ はい、ぱかーっ.....♡ そ、れで、ぼくが逃げらんないように、ショタっ子の肉のついた身体、ぎゅう〜♡

☆おねえさんは情欲にべとつた艶笑を噛み殺し、「ぼくくん」の耳元で種を明かす。狂気を交えた乾いた声が、「ぼくくん」の抵抗を許さない。

(12:10)

わっ♡ ぎゅーしたらぼくのお耳とおねえちゃんのお口、こんなに近あい♡ えへへ♡ ありがと〜
ぼく〜♡ おねえちゃん実はね〜、不審者のおねえちゃんなんだあ.....ね〜、こんなふうにしョタ
ケツガッ開き体勢までして、そんなにおねえちゃんにレイプで処女散らしてほしかったんだあ♡
ね、わかるよね、肛門ぐりぐりしてるの、おねえちゃんのぱんぱん亀頭♡ いーかげん気づけ？
お前、今からケツ、お尻の穴にい、優しいおねえちゃんのメスチンポぶちこまれんだよ♡

(13:11)

おほ♡ あ〜〜ほんと大人の力で惨めに犯されるガキ穴の呼吸聞いているだけでっ♡ とろとろ完
熟キンタマ煮えくり返ってヤべえんだわ♡ はい黙れ〜♡ ほらおててでお口塞いじゃう♡ うわこれ
レイプじゃん♡ んお♡ ケツの間でチンコびきっ♡ ってしたのわかったあ.....？

☆四肢を絡めた拘束の緊密さを確かめると、いよいよおねえさんは腰を突き出す。最も苦しいであらう挿入に備え、ペニスは嗜虐の色にいきり立つ。

(13:45)

ん、っ♡ じゃあチンポ挿れるね♡ はあ、っは一つ、やあ、っべ♡ あ、あ〜.....ぼく、くんと、どう
とう一つになっちゃう♡ おい♡ 脚閉じようとしたってムダだぞ♡ おねえさんのふっとい足首で
ぼくくんの足首押さえちゃってるから♡ 二人でカエルさんみたいにひっくり返ってチンポぶっ挿す
んだよ♡ ほら、力入れたら苦しいよ？ ケツ穴♡ 指も舌も入ったことない新品ケツ穴♡ 周りの
お尻の肌と全然変わらない、さらっとした手触りなのに、ぼくくんのねとねとおなかマンコに続いて
る皺穴♡ いただきまあす.....っ♡

☆「ぼくくん」をいたぶり、心の底からの喜悦をこぼすおねえさん。ペニスが菊穴に突き立っていくと、締めつけの強さに息を吐く。

(14:57)

うゝ♡ うゝ、っふ♡ っんゝ♡ ほらもう肛門っ♡ ガキ膣穴広がってる♡ めりめりめり♡ って、で
へ、えゝ♡ みずみずしいピンク粘膜で、チンポの、うお、っほっ♡ 味知っちゃって、あっ亀頭、入っ
たあ、うふふ♡ うー、うー、っておねえさんのお指に切ない呼吸が当たって、苦しいかガキい♡ く
る、っぐ、苦しいよな、ああ♡ だっておねえさん♡ はじめてアナル食っちゃうの初めてだもん♡ お
尻掘削童貞、んうゝ♡ ぼくくんにあげちゃうって思うと、ごんぶとチンポ幹がぶくぶく、太くなっ
てえ、ずぶ〜っ♡

☆おねえさんは獣じみた呻きとともに、羽交い締めのまま、暴力的な挿入を遂げる。肉幹をぐいぐいと尖らせて、淫猥な感覚にむせぶ。

(16:03)

.....あゝ♡ 嘘、お、はいった♡ デカチンほんとに、全部入っちゃっ、た、あああ♡ しゅっ、しゅげっ、しゅげえ狭、ひい、いゝっ♡ ぼっ♡ ぼくんの食べ頃実物処女アナル、今まで想像でヌキまくったのの百倍っ♡ みっちみちに、んぐっ♡ 肉詰まって、ちんちんぐぐっ♡ っと勃起するだけで、腹ん中あ♡ あっ、あゝ♡ なんかにちゃにちゃする肉がサオに絡みつ、てひっ♡ レイプしてぼくんのナカで勃起すんの、きも、っちい♡ うあゝ～～♡ ぼくんと、合体、っひひひ♡ しちゃ、ったあ♡

☆ペニスの凶悪さとは対照的な慈愛に満ちた声で、「ぼくくん」に喋りかけるおねえさん。自由なほうの手で「ぼくくん」を撫でながら、その誇りを傷つける。

(17:02)

おら、どーすんだよ、ガキっ♡ ふ、んぐぐっ♡ っはっ♡ なっちゃった～、ぼくくん、まーんこ♡ マンコっ♡ マンコって知ってっかあ♡ お前のことだよ♡ んふ、っ♡ お前みたいに、力づくで押さえつけられてチンポねじこまれて♡ 極悪カリ高ぱんぱん肉棒メスチンポケースになっちゃうザコのこと♡ そーらザコ♡ ガキは身体柔らけえもんなあ♡ 骨盤開いてケツ穴内側から広げちゃう♡ はあ、はあ、お腹から息を吐いて、少しでも苦しくならないようにしちゃう♡ どんどん立派なマンコになってんだよ、おお、おゝ♡

(18:01)

ありがと、うふ～～っ♡ うあ♡ おねえさんの、ためのっ♡ 専用チンポ入れ穴♡ になってくれ、てへえ♡ んっ♡ いい子だから撫でてあげる♡ なで♡ なで♡ こんな情けない子、おねえさん大好き♡ クラスにもいないよお？ んゝ♡ 大人のオス生殖器でショタケツごりごり広げられちゃってる子♡ ぼくくんは今日から、んっ♡ 軽い気持ちでチンポ挿れちゃった、掘られちゃったマンコ穴♡ お尻につけてる恥ずかしい子、うふん、～っ♡

☆おねえさんは獲物を弄ぶ肉食獣の余裕で、「ぼくくん」の抵抗を突き崩す。腕のうちに縮んで震える小さな体躯に、情愛と破壊衝動、相反する気持ちが湧きあがって笑う。

(18:57)

でもぼくくん、男の子が、おケツ穴マンコにされちゃったよ～♡ っめめめしてるだけでいいのかな.....出せ♡ 出しちゃえ♡ 女のチンポなんかに負けないぞ♡ ってえ、ケツ踏ん張ってチン棒押し出せ♡ お腹の奥に力、トイレするときみたいに、ん～って入れて、ん、お、おほ♡ おっ、追い出されちゃう♡ 肛門から、ナカのお肉ごとむにゅむにゅはみ出て、チンポも抜け、抜け.....抜け、ないっ、ずぶぶっ♡ うゝ♡ はいムダ～♡ アヘオホ生オナホ野郎が生意気なんだよ♡ んふっ♡ またケツ掘られちゃった、ああ、っ♡

☆抽送を助けてしまっていることにも気づかない「ぼくくん」を嘲笑うおねえさん。細く息を吹き出しながら、肛虐に歪んだ下腹に手を伸ばす。

(20:00)

ほらがんばれ♡ も、一回っ、っはっ♡ 腹筋こわばらせると、ドス黒チンポがにぢにぢ押し出されて、ふんっ♡ ずぼっ♡ 出して♡ 入れて♡ 出して、はあ〜♡ おねえさん、またぼくんにセックスのお手伝いしてもらっちゃった、あ〜♡ おらっ♡ これがセックス、っだっ♡ むりゅ♡ っとチンポ産んで、めくれたアナル口、ごとっ、うんっ♡ 直腸ん中に押しこまれて、ついでにケツ奥亀頭でボコボコにしてやる♡ 排泄快感ず〜っと続いて絶望しちゃってきもちいね、ぼく、くんっ♡

(21:01)

腹筋ザコだからケツの内側から押し上げられて、ほら、なでなでしたら、ああ……あ〜♡ ここまでちんちん入ってます♡ って、ぼこお♡ ってお腹、盛り上がってたよ♡ この淫乱便器が♡ んっ♡ あ〜あ、ぼくくんみたいなザコに生えてるせいで使い道ないおちんちんさん、かわいそうだなあ♡ おちんちんごとお腹、なで、なで……って、あれ、あれ♡

☆勃起している「ぼくくん」のペニスに触れると、おねえさんの唇から下卑た笑いがこぼれる。静かな怒りを帯びた囁き声と、含みのある笑い。

(21:41)

あへえ♡ えへ♡ あへへへ、っ♡ っあ〜……おいガキい♡ お前のチンポ、元気いっぱいピン立ち〜♡ なんだけど、どういうこと？ はあ、〜♡ マジか、マジかマジかっ♡ こいつ掘られてチンポ勃ててやがるっ♡ ねっそれって、おねえさんがレイプ上手ってことお？ それともおねえさん、びきびき女チンポにケツほじ食らうのが夢の変態マゾシヨタ野郎に、メス臭むんむん肛門鼻先にぶら下げられて誘い受けされちゃった？ うふ、うふふ、うふふふ、っ……ムカつくんだよガキ♡

☆おねえさんはほがらかに「ぼくくん」を脅迫する。穏やかでない想像を一方的に押しつけ、ペニスを動かす。

(22:37)

ぼ〜くん♡ 犯す♡ んひ、ついっ♡ うぐ♡ だって、おねえさんがぼくくんレイプの練習してたときはぼくくんが喜んじゃうなんて思ってなかったもん♡ あ〜、犯す、犯す、レイプ被害者のぼくくん、泣き叫んで気絶しちゃうはずだったんだもんっ♡ ああ〜、こんなの、またオチンポごつごつオスの形になっちゃうよお、ケツパコでぼくくんの消化管どろくちよにかき混ぜちゃうよお♡ お前が悪いんだからなあ♡ せいぜいちみっちゃいチンポ勃てて興奮してるこのビッチ穴♡ おらいくぞ犯すぞ、レ〜イプっ♡

☆擦れあう性器どうしの立てる水音が一段高いものになる。優しいおねえさんの手つきと強姦者の抽送が、背反した悦情をかきたてる。

(23:29)

ふうっ♡ んっ♡ んん、っ♡ おっこれこれ、ええ〜っ♡ ドデカいねっとりタマ袋だぼだぼ振り回す勢いでハメ、っ、ハメ、んおっぎもちっ♡ ぢい♡ がき♡ くそがきちんぽあな♡ 穴、あっ♡ あ

おおお♡ チンポにかつてえ芯が通、るう♡ おらがキお前もちゃんと想像しろっ♡ お前の直腸折れ曲がったところっ♡ どちゅっ♡ どちゅっ♡ 尿道穴とケツマン粘膜がチュウしてネバ汁糸引いてんぞっ♡ んおゝっ♡ あ、あはっ♡ 考えたらオマンコきゅう〜♡ しちゃう、ねっ♡ もっと締めんだよマゾ便器、いいひっ♡

☆おねえさんは「ぼくくん」にどこまでも屈辱的な所作を強いては哄笑する。「ぼくくん」の存在を掌握している全能感で声が上ずる。

(24:26)

おらおら、あつ、あゝ♡ あ♡ あ〜あ♡ お口塞いでるおねえさんの指がぼくくんのよだれでべちょべちょ♡ 肛門ひっくり返されて喘いでるぼくくんの、っ、きったねえんだよっ♡ おら舐めろっ♡ チンポだと思って一本一本丁寧にしゃぶれ、んん、うゝ♡うわ〜ぼくくん指ぺろぺろもへたくそだあ♡ 口のまわりまでぜ〜んぶ、べと、べとっ♡ おい♡ ケツもっ、おほ、うっ♡ ケツ汁もそんなくらい出して♡ チンポに奉仕する気持ち見せなきゃ♡ 出せ、えゝへっ♡ つゆだくマン肉でチン竿しごけ、え♡

☆おねえさんはふとうっとりと瞳を蕩かして、「ぼくくん」に耳打ちする。火照っているのに冷たい声色が、「ぼくくん」の身体を硬直させる。

(25:25)

うお、うおゝ、っお♡ ほ、ほっ、あは、はあ.....ぼくくん、お指にちゅ〜って吸いついて赤ちゃんみたあい♡ っん♡ お耳、借りるね.....あ〜かちゃん♡ おねえさんのぶっとマラでケツずぼぱんぱん♡ されて、うぐっ♡ うふ♡ い〜っぱいいやなことされてるのに、言うこと聞いて指まで舐めさせられてる♡ 上でも下でもおしゃぶりザコあかちゃんのぼくくん、にい♡ っあ、あゝ〜♡ おねえさんお願いがありま〜す♡

☆あくまでまことしやかに、「ぼくくん」を嘘で汚染していくおねえさん。暴力を匂わせる言葉遣いが、「ぼくくん」の耳元で弾ける。

(26:16)

ほらここ、マンコぎゅうぎゅうで苦しくて、なのにくぐーっ♡ って勃起してるぼくくんのおちん、ちん、んんゝ♡ムカつくから取っちゃっていい？ いいよね♡ ぼくくんのおちんちん、おねえさんが取ってぼいってゴミ箱に捨ててあげる♡ だめー、いらないも〜ん♡ おねえさんとえっちなことするのにはデカチンずっぽりくわえちゃうオスガキおけちゅ穴だけあればいいもんなあ♡ほら、きゅっ♡ ああ、もうおねえさんにおちんちん握られちゃった♡ おちんちんさんにバイバイして？

☆「ぼくくん」の思考が追いつかないうちにまくし立てるおねえさん。耳穴に舌を滑りこませ、未知の快感でまた「ぼくくん」を前後不覚にさせる。

(27:14)

ウソじゃないよ？ あのさあ、でっかいオスちんちんが生ゴミマゾちんちんに言うこと聞かせちゃうのなんて簡単なんだよね♡ ぬるぬるオス穴とん、とん、ってしたら裏っかわからちんちん切なくなっちゃうでしょ♡ それに合わせて、お耳に直接う、んくちゅ、んれるう、ん、つぶ、おちんちんさん♡ 取れてくださ〜い♡ とん、とん、ぴちゃあ、つぶあ♡ あ……ぼくんに言ってないから♡ 今おねえさんおちんちんに直接お願いしてるからマンコは黙ってろ？

☆おねえさんは声を潜め、「ぼくくん」の耳介の上で直接唇を動かすようにして、不穏な言葉を連ねる。やりとりから「ぼくくん」を疎外することで、幼い心を不安に陥れる。

(28:20)

とん、とん、んむ、くちゅ、ずる、う〜っ♡ あっ本当に、おちんちんさん取れてくれるんですね♡ ありがとう、はあむ、ぶちゅ、んぶぶっ♡ ガキ喘ぐな♡ うるさい♡ へえ♡ お尻の奥ずんっ♡ ってしたらちんちんなくなっちゃうってさ♡ おねえさんが棒のところつまんで、ずんっ♡ っと一緒に引っ張ってあげるね♡ はあ〜いちんちん取ろうね♡ ダメ♡ 取る♡ んむう、つぶちゅ、じゅるるんっ……ほらお耳から♡ ちんちんなくなっちゃうの理解しちゃう♡

☆おねえさんは息を吸うと、一際腰を強く打ちつける。当然ペニスに変化はないが、「ぼくくん」の絶望に満ちた表情におねえさんは、耳をくわえたまま悪辣に笑む。

(29:27)

くぶっ♡ ちゅぶぶ、んあ、ちんちんぽいっ♡ とん、とん、ちんちんさようなら〜♡ ずんっ♡ だよ♡ ずんっ♡ ぼくくん、ずんっ♡ っでえ、ぴちゅ、んるる、むあ、あぷっ♡ おちんちんさんばいばい♡ ああ〜マンコが怖くて縮んで、おっ♡ チンポに絡みついて、えっへへ♡ いくぞガキ♡ チンポもぐぞ♡ かぶっ♡ しええ〜、のお、じゅうんっ♡

☆しばし、唾液のねとつく音と呼吸だけが聞こえる。おねえさんのにたついた声で沈黙が空け、おののく「ぼくくん」は少しも心休まる暇がない。

(30:16)

……つぶ、う〜、う、うっ♡ ん、じゅるう、ぼく〜ん♡ ちんちんあるかな〜♡ 取れてないね〜♡ よかったね〜♡ ふっ、ふふ、ふふふふっ♡ うわ、ひっでえ顔♡ は〜……マジで、うっ、うう♡ 何も知らないガキ相手に適当な嘘ついて怖がらせながら犯すのキンタマグツリまくってヤベ♡ おっおっお、〜っ♡

☆おねえさんは軽く肛口をかき混ぜながら、乾いた声で「ぼくくん」のさらなる恐怖を誘う。ペニスはおねえさんの言葉を裏付けるように、みちりと張り詰める。

(31:05)

ごめんね～ぼくくん、おねえさん嘘ついちゃったあ♡ よかったよかった、おちんちんさんおねえさん
に取られちゃわなくて嬉しい～♡ だって、っあ、う、ん……ふにふになおけちゅ♡ で、えっちな
ことしちゃう悪いぼくくんでも、おちんちんぶら下げてていいんだもん、ねえ♡ けどお、お、おっ
……やっぱり、クソガキぼくくんのおちんちんは取れちゃいまあす♡

☆おねえさんの低くかすれる声が、「ぼくくん」の口答えを許さない。落ち着いた調子とは裏腹、抽
送は重く深く、強直する尻脰を無理に突き広げていく。

(31:43)

……ぼくくんが何考えてたか当ててやろっか♡ おねえさんのぶっといお肉マラ、初物キツキツケ
ツマンにぶちこまれて、こう、やっ、てえ、ずぼっ♡ つふ、一つ♡ 掘られちゃうから、ひ一つ♡ 苦
し、いっ♡ ってなって、もうおちんちん負けました♡ ぽろっ♡ っておちんちん取れちゃうの正当
化してたんだろ♡ はあ……～♡ なにおねえさんのせいにしてるワケ？ てめえのケツがオスと
見ればどんな竿でもくわえこむがばがばビッチ穴なのかわりいんだろ？ ずぼっ♡ ずぼっ♡ ず
ぼっ♡ ってさあ♡

☆形を変えて繰り返される恐怖に、「ぼくくん」の菊穴は否応なく縮み上がる。おねえさんはペニ
スで反応を敏感に悟り、ひそかに舌をなめずっては都合よく要求を突きつける。

(32:56)

ん♡ ふ～～っ♡ う♡ そう、いうっ♡ 脳みそがマンコ堕ちした淫乱オスガキオナホのちんち
んは、うう、っん、つくっ♡ おねえさんがもいでやんなくなつて、あははっ、勝手に取れちゃうんだ
よっ♡ 自分から♡ おしりのほうが気持ちいいからザコおちんちんとかいらな～い♡ って、っふ、
ふう♡ んぐ、う、お♡ こ～んな脰ヒダににににっ♡ ってせり出して亀頭舐め、ちゃううっ♡ よう
な、っあっ♡ できあがってるほかほかマンコくっつけてるような、やつ、はあ♡

(33:54)

あ……でも、お♡ おちんちんちゃんと男の子♡ になれたら♡ ちんちん役立たずじゃない♡ っ
ておねえさんに見せつけられ、たらあ♡ くあ、っあ、～っ♡ 大丈夫、かもしれない、え、っへへ♡
あ、へえっ♡ どうする、なんて、っはっ♡ 決まってる、だろおお♡ つじゆるう♡ ちんちんがいち
ばんオス♡ になっちゃう瞬間っ♡ ん♡ ぼくくんの大好きな、ぴゅー♡ 真っ白おしっこほんと
に出してちんちん許してもらおう、んだよ♡

☆喜色たっぷりに雄脰を犯すおねえさん。感点を執拗に擦り上げ、尻とペニスの両方に支配を及
ぼす。

(34:48)

ほら、あっ♡ ここ、だろうがっ♡ おっケツ締まる、んっ♡ お～ケツ締まる、っぐぐっ、こう、もん
っ♡ きゅ～♡ って締めちゃうくらいケツマンコオススイツ、ちい♡ いひ、～っ♡ 一発逆アナ
中毒粗チンのくせに裏側、ケツ、ん中っ♡ ぶどうみたいにぷりぷりの直腸肉、うぐぐ、うふ～っ♡

(38:06)

ん♡ う♡ ふ、っぐう、っあ～～♡ あ、っあっあっ、チンポ溶け、てりゅ、ケツマンコ、ナカ、で、どろ、どろ……カ、抜けて、おふとん、にい、どすん♡ ふん♡ ふん♡ ってチン竿ビキつかせて本気オスイキするのも好きだけ、どお♡ おっ太いの出た、あへっ♡ こう、やってぴゅー♡ ぴゅー♡ って我慢できない尿道お精子シヨンベン漏らしまくるのも好き♡ ぎっ♡ あ、っでも♡ ぼくんのとろとろマンコ粘膜♡ 生コンドームにして、はじめて中出し♡ だから、なんでもすき、い♡ ひっ♡

☆おねえさんの声からは、すっかり毒気が抜けている。なのにその言葉は不穏で背徳的な響きに満ち、またペニスを太くする。

(39:20)

ふ、～～……こんな、幸せどぼどぼ射精してる場合じゃない、のにい♡ ぼくんのあったかおけちゅ♡ の奥に♡ ん♡ 脂っこくっせえ処女マンコレイプの証拠♡ キンタマ煮詰まりクリーム体液大量に残しまくっちゃってる、のに♡ ちんちんオスにして突っこんでおめめちかちかアナ掘りアクメ♡ んぎっ♡ キメまくっちゃってるの、見つかったら捕まってぼくんと離れ離れ、なっちゃう、のにつ♡ 尿道バカになっちゃって、止まんねえ～……おっ、おっ♡

☆「ぼくくん」が射精しているのを見つけた途端、言いようのない高揚感に見舞われるおねえさん。侮蔑をこめた声で祝福する。

(40:14)

あ～、っ、ぼくくん、ぎゅーしちゃお、ぎゅ、う……あれ、ぼく、くん、おちんちん、おちん、ちん♡ お腹のところに、白いのが飛んでる、ひ、ひひ、ひひひひっ♡ ふひっ♡ ぼくくん精通♡ 精通しちゃった♡ 精通精通精通、う、うう、っん♡ こいつ未使用ケツマン掘られて一発精通しやがったぞ、おいおい♡ ね～ぼく～ん♡ おめでとう、ねえ、あえ～、れる、れる♡ 溜めこんだ男の子汁う、マンコ突かれてトコロテン♡ ケツからチンポお漏らしするの勉強しちゃった♡ うわ～、マゾっ♡ んぴちゃあ♡

☆おねえさんは身体をもぞつかせ、常軌を逸した行動に出る。自失した「ぼくくん」になど構わず、ただただ自分の獣欲を満たして低く笑う。

(41:38)

んぷ、くちゅ、ちゅあ……えへ、それじゃぼくくんのはじめてチンポ汁、お指ですくってえ、すん、すん……おっおっ、これ、えっ♡ このオスの自覚足りないケツイキ臭、たまんねっ♡ はあ～マンコ疼く、うふん♡ ねっ♡ ほら♡ ぼく、くん、んふふっ♡ この、ぼくくんのたまたまさんが作ってくれたお汁、どこに行くのかな♡ 縮みっぱなしの汗だくタマ袋めくってえ、おねえさんのメスくっせえマン汁穴に、ずぽっ♡ んう、ん♡ いい、っ、これ、お嫁さん声出しながらぼくくん精子でマンズリカくの、好、っき、い♡

(42:46)

ふっ、ふ、うう♡ これ、でえ♡ ぼくくんもおねえさんのことレイプしたのと同じだからねっ♡ ぼくくんがけいさつ、あは、っあ♡ 警察に通報したら、精液調べられておねえさん捕まっちゃうけど、おねえさんもオマンコくぱあ〜♡ してっ、う、んお♡ あ♡ ぼくくんがケツ掘れって言ってレイプしてきたんですう♡ って言うから、そしたら一緒に逮捕されて、牢屋でばこばこ繁殖セックスしようね♡ ね♡ 通報してね♡ ガバケツおっ開いてレイプされましたって言って♡ 言えっ、おお♡

☆おねえさんにとっては甘美な妄想に、ペニスは休む間もなくいきり立つ。さらなる証を刻みつけるべく、おねえさんは息を深く吸いこむのだった。

(43:36)

ね♡ ねっ♡ 捕まりやすいようにい♡ ぼくくんが、ん〜♡ って踏ん張ったらお尻から出ちゃうように♡ おねえさんも〜とガキマンコの奥から入り口までねりっねりっねりりっ♡ って、え♡ ヨーグルトみてえなキンタマエクス、産みつける、からあ♡ ぼくくんはいつでも気絶していい、よお♡ あは、っ♡ 油断ケツ穴みちみち言わせながら、抜き、っでっ……うんっ♡ んっ♡ 気絶、しろっ♡ おやすみっ♡ おやすみ、っ♡ おやす、みいい〜っ♡

第4話 みちかなおねえさんがふしんしゃだったら

☆翌朝、おねえさんの店の前を気落ちした「ぼくくん」が通りかかる。どこか不自然な足取りで駆け寄ったおねえさんは、嘘っぽい笑い声で語りかける。

(00:01)

.....あ、ぼくくんだ、ぼくくん、ぼくくんだ、おねえさん、の、んふっ、ん、じゅるう、んっ、んっ.....どうしたのかな、ぼくくん♡ ねえ、とっても悲しそうな顔に見えるよ♡ おねえさん、ぼくくんが悲しいと、悲しいな♡ うん、うん、いつもみたいに、ぎゅー♡ して、背中、なでなでしてあげる、ゆっくりでいいからね♡

☆まんまと「ぼくくん」を抱き寄せたおねえさん。優しい腕はそのまま拘束になって、おねえさんの冷たい声から逃げ出せなくする。

(00:45)

なーん、て♡ おねえさん知ってるよ♡ お耳、ふう.....ああ、そうだ、こう言ったら、わかっちゃうかなあ.....おいガキい♡ あ、っひひ♡ 身体、びくっ♡ ってしちゃったね♡ おけちゅ穴は、ど〜お.....おねえさんがたっぷりぐちょぐちょほぐして、よだれ垂らしてビキチン待機♡ 肛門もこっ♡ の大人メコ穴にしちゃった、お・け・ちゅ♡ うふふ、こんにちは〜.....チンポ♡ チンポお♡ あ〜.....ぼくくんの処女食い散らかしたチンポでえ〜〜す.....っ♡

☆おねえさんは「ぼくくん」が恐怖に固まるのを腕越しに感じ取り、息っぽい声で忍び笑う。楽しいできごとであったかのように、凌辱の思い出をなぞる。

(01:51)

そう.....ぼくくんのお部屋に入って、おふとんに入って、お口塞いで、お尻こじ開けて、ずぼっ♡ ずぼっ♡ ずぼっ♡ ぼくくんのぬるぬる新品粘膜に、ぶりゅりゅりゅ.....ってえ、精子多すぎキンタミルクで真っ白マーキングしちゃったメスチンポが、おねえさんなんだよお♡ ふふっ、ぼくくん、腕に鳥肌立ってるよ〜.....気持ちいいの思い出しちゃった？ あへっ♡ トコロテン汁おちんちんからびゅ〜っ♡ って噴き上げちゃった、ケツマンコで精通しちゃったんだもんねえ♡ ぼくくんとおねえさんの一生の思い出え♡

☆喜色たっぷりに、ペニスを隆起させるおねえさん。勃起を見られると股間に痛痒い悦感が走り、喉がごろごろとうなる。

(02:48)

あ、おっ、おっお♡ ふへ、っ、チンポおっ立つ、ん♡ ほらぼくくん、見て？ おねえさんのおっきなおっぱいぐりぬけて、おめめ下に動かしたら、もっ、こり♡ どうせすぐ勃っちゃうから、先っぽ天井に向けておパンツにしまってる、やさしいおねえさん自慢のレイプ魔オチンポ♡ あ、っ♡ や

だ♡ ぼくくんおめめがえっちい♡ おお、っほ、ほお♡ 視姦されてびんびんくる、っ、ううう、勃起見せつけおズボンごとぴく、ぴく、動かして、ご挨拶、おりこう～……う♡

☆おねえさんはごく自然に、「ぼくくん」にしなだれかかる。正気を失した声で、自らの痴態を明け透けに開陳する。

(03:36)

マジで、やべっ、んだよなあ、あ、～っ♡ おねえさん最近チンポ硬くない時間のほうが少ねえもん♡ ちんちん萎えるの、一回マスクいてキンタマふっくらオナ汁充填しちゃうまでの間だけ♡ お前のせいだよ？ ん、う♡ あんなクソガキほかとろちゅばちゅば穴タダで食わせてくれちゃうんだもん♡ ちんちんデカいくせにバカみたいにずーっとびんびん言ってる♡ 寝ててもずっと♡ 起きたら毎朝パンツに盛大お精子お漏らし♡ きっと夢の中のおねえさんはぼくくんとい～～っばいえっちなことしてるんだろぅね♡

☆目の前の「ぼくくん」への発情を隠そうともしないおねえさん。不自然な息継ぎが、今にも破れてしまいそうな緊張を感じさせる。

(04:28)

あ……どうしよ、ぼくくん♡ おねえ、さん、んっ、んっ♡ 腰、かくかく動き始め、ちゃった♡ あ～～止まんね♡ 見ろ♡ あんときおねえさんこうやってお前の後ろからケツマンズボり返して、はあっ、たんだぞっ♡ ふ、うう～、っ♡ あっあっ、メスのくせに慣れすぎパコ腰見せびらかして、あわよくばぼくくんがその気になったら即ハメ、ハメ、ハメ、っへ、え、ハメっ♡

☆おねえさんは口角が裂けるような笑みに顔を歪めながら、凶暴な欲求をあと一線のところで踏みとどまっている。ペニスからは先汁が溢れ、禍々しい形で伸び上がる。

(05:04)

ガキ♡ ガキ、っ♡ へ、へひっ♡ 責任取ってくれんだよ、なあ♡ 肉幹ぼってりおねえさんチンポ、のっ、おお♡ もっこりズボンの先っぽ恥ずかしい染みつけ、ちゃう、んふっ♡ 先汁じゅわじゅわ尿道ゆるチンポの面倒、う、～っ♡ デカパイゆさゆさ♡ デカタマゆさゆさ♡ おねえさんのお花の匂いの中に、むわああ……獣臭いオスの香り、ん、んっ♡ 立ち昇らせちゃうカリ傘おっぴろげ発情マンコほじ棒♡ ぼくくんの、きゅー、ぱっ♡ きゅーっ、ぱ♡ って、え、へ♡ 唇みたいに肉厚マンコになったケツ、でえ♡

☆目を落ち着かなくしばたたき、むりやり息を整えるおねえさん。衝動をすんでのところで抑え、「ぼくくん」に喋りかける体で、自分に暗示する。

(06:00)

……っあ、はあ、一つ♡ あ～っ♡ ここで犯す、おか、犯したいっ♡ つぐ、ぐ♡ 白昼堂々路上公開ケツマンレイプ♡ 合体、がっ、たいい……♡

(06:21)

そういう、ことだから、おねえさんはぼくんのうちに侵入して、処女アナぶっぽぶっぽひっくり返し交尾、しちゃう悪いおねえさん、だからあ♡ ぼくくん、もうおねえさんのところ、来ちゃダメ、だよ♡ お部屋の窓も絶対閉めて、誰かが訪ねてきてもドア開けないで♡ ぼく、くん、んんっ♡ ぼくくん、ね、一回はレイプだから許してあげる、けど♡ 次おねえさんの前に出てきたら、それはもうおねえさんのデカマラのペットになる♡ ってことだから♡

☆おねえさんは最後に「ぼくくん」を強く抱き締め、解放する。粗暴な言葉を囁くその裏で、淫らな確信にペニスは痛いほど屹立していた。

(07:07)

ねえぼくくんっ……最後に一回、ぎゅってさせて、うん、ありがとう……ぎゅ、うう～っ♡ な♡ 来いよ♡ 絶対に来い♡ お前はおねえさんに犯されに来るの♡ ふ、うう、ん♡ 今度はぼくくんとおねえさんじゃなくて、ケツ汁だったらオスマンコとごんぶと肉幹メスチンポっ♡ 一回ケツでチンポ食ったらケツでしか気持ちよくなれないもん♡ ……それじゃぼくくん、学校、行ってらっしゃい♡

第5話 ておくれ

☆それから数日、表面上平静を取り戻したおねえさんの店の軒先に、「ぼくくん」が訪れる。よく見知ったその姿を認めた途端、ペニスが熱を持って深く脈打つ。

(00:04)

えーっと、次で水替え最後かな……お、おっ♡ ヤベっ、またキンタマにちゃついて、思い出し勃起、っひっ♡ シコリて、え……ふっ、ふー、っ、我慢、我慢、終わったらチンポ握って、ごしごし、ごしごし……って、あれ、お客さんかな、あ……うそ、嘘、お、ぼく、くん、んん♡

☆どすどすと粗野な足取りに反して、おねえさんの声はうわごとのように頼りない。おねえさんは「ぼくくん」のすぐそばまで来ると、たやすくその身体を抱え上げてしまう。

(00:43)

ぼく、くん、ぼくくん、幻覚じゃない、よね♡ あああ、あ、～♡ ぼくくん、あ～あ♡ ぼく、くんっ♡ ダメ、だよ、来ちゃダメ、っておねえさん言ったよね♡ 大人の言うこと聞かない悪い子は、おねえさんが、だっこ♡ して♡ おうちの中に連れてって、いっぱいしつけて、あげなきゃ……よい、しょっと♡ わかる、わかってんのかな、ぼく、くん♡ 足つかないよ♡ 逃げられないよ♡ ああもうかわいい、っ♡ おら、チューするぞっ♡ 口出せ、んむ、ぶちゅっ♡

☆おねえさんはあたりかまわず熱烈な口づけを施しつつ、ごく冷静に扉を開け、鍵をかける。らんらんと輝く瞳が、「ぼくくん」の背筋に怖気を走らせる。

(01:43)

ぐちゅ、っぷ、ぶっ、むちゃっ、しっ、舌、もお、入れろ、唇の裏でどすけべちゅっちゅ、んむるう、ん、んもっ、んれるる、うずずっ♡ ほら、もうおうちに入っちゃう、むぐちゅっ、お外から見えなくなっちゃった……え♡へ♡

(02:14)

見て見てっ、今日からはぼくくんのおうち、絶対ぼくくんの身長なんかじゃ届かないところに五個も六個も鍵がついてあるんだよ、んっ、ぴちゅ、ぐ、っちゅ、ん～～、諦めようね♡ ぼくくん閉じこめ、っ、んおんお、んお♡ 信じらん、っね♡ 鍵かけただけでイぐ、っイぐイぐ、イがないっ、キンタマじめりゅ、う♡

☆おねえさんの長い手足が檻のように、床に下りた「ぼくくん」を取り囲む。そのまましゃがみこんだと思うと、舌なめずりをして「ぼくくん」の初々しい挙動を見守る。

(02:46)

がっ、我慢♡ 我慢した、もうチンポ穴当たってるところ、おもらしみたいになっちゃう♡ お♡
んじゅ、るっ、ぼくくん、お床に下ろしてあげるね、んしょ♡ そし、たら、ドアに手ついて、ぼくくん
をぐる〜と囲んだまま、しゃがみこんで、ふう〜……あ、こんなところにお耳があるう、まっかつか
だあ……♡ 脱げ♡ おねえさんの目の前でみずみずしいおちんちん丸出しにしろ、お♡ つるつる
股間でえっちの準備整えろ♡

☆「ぼくくん」のペニスが露わになると、おねえさんは矢も楯もたまず先端に吸いつく。滑稽な様
態を晒しながらも、主導権は決して手放さない。

(03:38)

ちんちん出した？ ちんちん出した？ ちんちん出し、たああ♡ あ〜〜っ、この包皮がくぷっ♡
って丸まった朝顔おちんちん♡ 緊張してちいちゃく縮んで……ほらぼくくん、目上の人の前で
ちんちん皮かぶってるのは失礼だよ♡ おねえさんのお口もちゅぱちゅぱ言って怒ってる♡ あ、
ちゅっぱ、ちゅっぱ、ちゅぱっ♡ 剥け♡ ぼくくん得意でしょ♡ ん♡ ほらお指添えて、おろした
ての亀頭さん、ぷりっ♡

(04:20)

あっ食べる♡ 桃色つやつや亀頭、食べ、っりゅう♡ んぢゅっ、ぢゅう、ぢゅっぱ、ぢゅぽお♡ つ
ぷふう〜っ♡ 即尺♡ こんな、もん♡ ナマ出しチン先突きつけられたら、あ〜、ぐぢゅっ、ん
じゅ、うずうず♡ すぐに亀頭バキュームキメる♡ ぼくくんに見せつける、んれるる、っぢゅぱ♡
憧れのおねえさんがまだ浅いカリの肉エラにぶるるん唇引つか、ひえて、んも、んむう〜……っぱ
♡ 見た？ お口伸ばしてチンポ引っ張るドン引きちんちんウオシュレット顔♡ もっと見ろ♡ は、あ
む、っぷ〜う♡

☆おねえさんは「ぼくくん」のペニスを味わい、陶然とする。「ぼくくん」の不品行を言い咎め、ま
すます得意げにペニスをほおばる。

(05:14)

ぶぢゅっ、ぶぢゅっ、じゅる、っぷう♡ うめっ♡ ちんちんうっめ♡ むぢゅぶ、ぶふっ♡ 特にちん
ちん穴のまわり、んれろ、ぴちゃ♡ ペろペろひゅるとめっちゃ味する、んぶ、んま、んまっ♡ ぼく
くん、いけないんだあ♡ 毎日毎日お猿さんになっちゃってるんだ♡ ケツイキちんちん開通した次の
日からずっと♡ んぢゅ、っう、おねえひゃんに掘られひゃのおもいらひて、ぐぷっ、んにゅるう、覚
えたてしゃひえい、ぴゅっぴゅっ♡ ひてる味、んがぽっ、ぽっ、むぽ……っ♡

☆突如として、面妖な言葉を口にするおねえさん。手は落ち着かず、自らの股間をまさぐる。

(06:05)

らめ、かも♡ んむぢゅ、っぷっ、ごめんねえ、ぼくくん、おねえひゃん、このおひんひん、ぼくくん
より、んあ、れるるっ、ひゅきになっひゃう、はも、んももっ♡ つは、あ、ほら、ぼくくんのおちんち
ん、おサオの根元まで、あ〜……っぢゅーっ♡ あ♡ ほおばりながらぼくくんとおしゃべり、し

ちゃうしい♡ ほらおねえさんのおてて♡ んっ♡ んっお♡ 手放しチンしゃぶご奉仕♡ しながらメスチンポかりかりして、おっお♡ うわあ♡ ズボン貫通して尿道汁がお指に糸引いちゃう、う♡

☆おねえさんは「ぼくくん」のペニスにむしゃぶりつきつつ、選択の余地のない要求を差し向ける。長く引き伸ばされた吸引音が、焦燥を高める。

(06:56)

ダメ、なの？ ぼくくん、お尻でビキつき硬チンポの味覚えちゃったからアナルがしゃぶしゃぶしたくて疼いちゃうだもんねえ♡だったら♡ ケツさっさとトロ穴マンコ状態にしておねえさんに差し出せ？ ちんちん根元から吸い下ろして、もっかい皮かぶせてダメにしてやるから♡ その間に肛門口くちよくちよ引っかけて広げて濡らして♡ 自分からチンポケースになんだよ♡ はい、んあっ、ちゅうう~~~~、っ♡

☆「ぼくくん」の裸の臀部に手を添え、すぐさま胸の高さまで抱え上げてしまうおねえさん。身体に力を入れたことで、声も低く震える。

(07:43)

.....できた？ 用意できた？ ぶっと♡ 長♡ 腫れマラお迎えできるとろっろアナルになった？ あ、あ、や、あッバ♡ ぼくくんが♡ おねえさんのために♡ おけちゅ穴マンコにしてくれたあ♡ ちんちん汁漏れヤッバ♡ んふ、っ、そしたら、おねえさんこお~んな硬さも長さも太さも熱さも未熟なザコちんちんなんか唾吐きかけて捨ててあげる♡ ペっ♡そしたら、甘ったるいカウパーで長サオてらてらに濡らしながら、ぼくくんをまただっこお.....うんっ♡

☆おねえさんは「ぼくくん」の苦悶の表情を真正面から見据え、雄穴にペニスを押しこむ。ペニスは挿入する最中ですら血液を流入させ、肉幹を膨らせる。

(08:35)

は、ああ♡ ガキっぽい体温高めの身体あ、抱き上げて♡ なで、なで、ん、ん♡ うほほケツまっるう♡ や~っばケツっ♡ ケツだよなあ♡ 丸くて脂がのって、奥にうまそうな穴が空いて♡ は一つ♡ はあ、っ♡ わかるかなぼくくん♡ このままおねえさんがちょっとぼくくんの身体、下ろしちゃったら、ああ、つくちゅ♡ ぼくくんの体重が硬々チン先と、お肉割れかけアナル穴にかかって、自動的に串刺し♡ ほらおねえさんの顔見ろ？ 勝手にセックスしちゃう股間なんかほっとして、あへ~~♡ ってすんぞ♡

(09:27)

ほら、ほら、ケツったぶ左右に割り広げて、落ちる、落ちる、肉マラぎちぎちカメさんがぼくくんのナカに、んう、侵入して♡ ふわっどこねられマシュマロ肛門、っ、が、おなかの内側に、逆にめくれていくよ、っすうっ、ずぶぶぶぶぶう.....っ、あ、あへ~~♡

☆おねえさんは腰を控えめに揺すぶり、「ぼくくん」の膣内の熱に浸る。互いの身体が互いを拘束する不自由な姿勢の中、淫肉だけがぬるぬると擦れあう。

(09:58)

ぐちゅ♡ っていったあ♡ マンコの音、マンコの、マンコが掘られて広がる、音おお♡ ほ、本当にセックス、っ♡ 駅弁立ちハメ、ええ……んえ♡ サオ裏っ、肉厚ぶるぶるガキ膣ひだで舐め回、ひかれて、ひゃ、あう♡ う～～っ♡ チン、ポ、お♡ っ、チンポだけお風呂に浸かってる、みたいにあったか、あ♡ ぬぶ♡ ぬぶ♡ くわえて、離してくれなくてえ……

(10:41)

ああ～ここすっごおい♡ ちんちんおサオのところは硬めのお肉がちゅー♡ って吸いつい、て、ふんづぐ♡ ん♡ しゃきっぽ♡ 剥けマラ濡れ亀頭♡ につちゅにつちゅ♡ えぐりがいのある膣奥肉堪能してりゅ、んっんっ、ふっ、ふーっ♡

☆おねえさんはあくまで甘ったるい声で、独占欲と優越感を露わにする。鈍重な陰嚢をたゆませて、一層獣欲を煮こごらせていく。

(11:05)

おいガキっ♡ いつまでもマンコ拡張ボケ面披露してないでおねえさんに教えて？ ぼくくんのことケツ穴マンコだと思ってる太チン女に使われる気分教えて？ まっすぐ上向くボッキの角度すら変える必要ないお手軽ちんちんハメ穴にされちゃってるの嬉しい？ だっこされておけちゅ膣肉しか動かせないの悔しい？ ずっっぷりオス穴マラ肉ぎちぎち交尾の挿入感で♡ 牛チチみたいでっっぷり陰嚢ぶらぶら揺らしてタマ裏ぴくぴく痙攣させてるおねえさんに犯されてどう思うかって聞いてんだっ♡

☆「ぼくくん」への愛情を穢れた肉欲で塗り潰し、背徳感で遠吠えするおねえさん。「ぼくくん」を舐めれば舐めるほど、脳が悦楽に茹だって言葉が溶ける。

(12:05)

あ！？ 便器が何言っただって意味なんかわかりませ～、ん、ん♡ はいお前お射精中毒のオンナチンポ便器に永久就職決定、けっ、てい♡ っひ、い、い～っ♡ おらガキっ♡ おねえさんのチンポケースになれっ♡ 種臭こびりつきメスマラ専用お風呂につ、お、おお♡ キンタマオス汁コキ捨て便器につ、にい♡ んお、お、ほほおっ♡ こりえっ♡ んふーっ♡ ぼくくにひどいこと言いながらケツっ、掘ったくるの脳みそ溶けるカウパーになってチンポの先から全部出る、っぴゅ♡ ぴゅうう、う♡

☆ペニスが音を立てる勢いでいきり立つのと同時に、おねえさんは憤りに満ちた鼻息を噴き出す。「ぼくくん」を威圧し、冒瀆的な想像にうっとり目を細める。

(12:57)

ん♡ ふうー——っ♡ ふんっ♡ チン、ポっ、あ～～マジでこいつのケツマン顔イラつきすぎて
メスチンビキりまくるっ♡ ふ、うっ、ぼくくんさあ♡ なんてそんなにマンコなの♡ 人間らぶらぶナマ
膣穴みたいな顔してるの♡ 便器だよ♡ ぼくくんおねえさんの性処理便器だよ♡ おねえさ
んが白いおしっこびゅっびゅっびゅ♡ ってする用の便器がなんで人間様の睾丸種汁タンクぐつぐ
つ沸騰させて調子乗っちゃうのかなあ♡ あゝ、っ♡ 頭きた♡ ぼくくんわからせる♡ 心の底から
便器にしてやる、～っ♡

(13:46)

んっ♡ 便器い♡ 便器ってのはなあ～♡ は、っあ、うゝ♡ んふっ♡ 便器はいつでもきたな～～
い♡ くっさ～～い♡ お汁でべとべと～～♡ って、で、っひっ♡ 誰からも見下されるしょうもない
存在じゃないとダメなんだよお……ぐ、っひひ♡ おねえさん優しいからあ♡ ぼくくんを一人前のお
便器に育ててあげるね♡ まずお尻の中はあ、まあここはもともとメスのにおいぷんぷんさせて
便器なんだけどお……ふんゝ♡ ん♡ ね♡ ぬっちょ♡ ぬっちょ♡ ってチンポ汁しみ、こま
せ、っでっ♡

☆おねえさんはいやらしく舌をくねらせて、「ぼくくん」に近づけていく。耳、反対の耳と舌を這わ
せ、「ぼくくん」を上から下から舐め溶かす。

(14:33)

でっ、膣ほじピストンっ、猛烈にケツ、掘りっ♡ ながら♡ ほらぼくくん♡ おねえさんの幅の広い
舌が、あ、～っ、んれろお、んれえ、おゝっ♡ 目の前でべろべろしてる、ねえ♡ ふっ、っふ、一つ、こ
れ、でえ、うゝっ♡ お耳、ぶちゅ、つちゅ、んるる、むちゃ、んあ～♡ ケツう♡ おねえさん汁でふや
かされて気持ちいいか？ あ？ べちゅ、んにゆるるう♡ んゝ♡ うわ♡ ざっこ♡ 耳穴舌ピストン
で肛門ぐばぐば♡ めっちゃチン竿噛むじゃん♡ おい便器い～、んむちゅっ♡

(15:38)

ほらブトチン抜きながら舌もずるずる抜くよ？ ぶちゅっ♡ んにゆう……～っ♡ そぞぞっ♡ っ
て背筋い、うぶげ立ててマンコ反応しちゃった……反対のお耳でもっとえっちなこと言ってあげる
ね♡ んう、っぺちゃあ♡ あ～～もう両方のお耳が便器♡ マゾ肉穴のぼ～くくん♡ むちゆる、む
ちゅ、ごくっ♡ 四つん這いにしてちっせえ身体じゅうくまなくセンズリミルクぶっかけてあげる♡ 出
した後のぐったりサオ裏腋とかケツで拭く、んぷちゅ♡ でも顔射♡ 顔面精子お便器にだけはして
あげなあい、ぐちゅ、ぐちゅ、う♡

☆粘り気を増した唾液が口の端に引っかかる聞くに堪えない音。おねえさんは舌を出したまま
「ぼくくん」の顔に接近し、ざらついた表面を押しつける。

(16:47)

ぴ、っちゃあ♡ だって……あ♡ もうわかっちゃった♡ 次どこが便器にされちゃうか、お顔の前
で、んちゅ、ってる♡ くねくねしてる舌見るだけでマンコキツくしちゃうへんたいさあん……べ、
ちゃあ♡ んえ～、あえっ、んれ、ろおん♡ んふ♡ ぼくくんの顔お、ワンちゃんみたいにいれろれろ舐
め回して、んべえ、あ～～ここ♡ ちゅっちゅ、ちゅ♡ 目頭うんめ～♡ ショタケツ掘ったときだけ

出る涙あ、あ♡ あ♡ うめ♡ すっごおい、ぼくんの涙メスチンびんびんバイアグラあ、ちゅろおっ♡

☆おねえさんは到底無理な条件をつけ、「ぼくくん」の自制心を突き崩そうと企む。わずかに残ったプライドを引き出し、丁寧にふやかしていく。

(18:07)

おでこ、あえ～……鼻先、んれえっ♡ ほっぺたあ、ぷちゅ、ちゅあ……あ♡ ほほ、っ♡ メインディッシュ♡ つやつや唇、おっお——っ、キンタマ張る、っ……おいガキい♡ ぜってえ舌とか出すなよ？ らぶちゅ♡ じゃなくて、おねえさん汁でぼくくん便器をオス臭コーティングしてんだからな？ おねえさんの誘惑に負けちゃダメだよ？ ちんちん生やしてる男の子なんだからそれくらいできるよな？ ほら、お口い、ちゅるう……ん♡

☆過剰なまでに甘ったるい声で、「ぼくくん」の墮落を誘うおねえさん。的確なタイミングで打ちこまれるペニスが、膣ごと身体を弛緩させ始める。

(19:01)

ぺちや、ぴちやあ♡ ぼ～く～ん♡ お口開～けよ♡ んる、う、むにゅ～っ♡ おねえさんがちゅーしたいって、ん、れええ♡ べろとべろで綱引きしよ♡ って舌先とんとん♡ ケツ処女おねえさんに捧げちゃうまでは、おねえさんとちゅーする♡ なんて考えただけで、ん～、ぷちゅぷちゅ♡ ちんちんびん♡ 空撃ちぴゅっ♡ の大興奮だったんだよね♡ にちゅ、う♡ 今は、む、ちやあ♡ どう？ お尻にゅぽにゅぽにゅぽにゅぽにゅぽ♡ と一緒にお口がちゅーしたら♡ ぼくくんぜ～んぶ溶けてなくなっちゃう♡

(20:07)

ちゅ、ちゅむう♡ きゃー♡ 自分を便器扱いしてるおねえさんの言うこと必死に聞いて口ぎゅっつて閉じて、かわいい～……ん、っ♡ まあケツ犯されてる時点で、そんなゴミカス抵抗意味ないんだけど♡ ほ、おら♡ 先っぽかったいマンコほじほじ棒で、ふ、う、んお♡ こねこねされすぎてオスケツが♡ 直腸がしちやいけない蕩けかたしてる、膣奥ぐりゅ、う♡ って、でへっ♡ ねじっちゃったら、あ、あう……♡

☆おねえさんの舌先がわずかな隙間から「ぼくくん」の口腔に滑りこむ。おねえさんはいよいよ劣情のまま凶暴さを丸出しにして、「ぼくくん」をドアに押しつける。

(20:56)

んちゅ、んお、ちゅ、つるる、んあ、あ～～ぼくくん入れちゃった♡ ん、むちゅ♡ つぷ、っん♡ おけちゅとお口が繋がっておなかの中ぜえんぶマンコ♡ う、ふふ、っふ、～っ、むちゅびちゅっ♡ きっしよいメス声出してんじゃね、っ、んむぐっ、ぷちゅる♡ おねえさんのザー汁ごぼごぼデカキン、タマっ♡ 挑発するばかりが得意のガキ便器はあ……玄関のドアに、どすんっ♡ 押しつけてケツ掘って、おっお、ほおおっ♡ ふっ、ふっ、おらキスハメ♡ キスハメすんぞっ♡ ふ、んむっ、ぷちゅ、ちゅうう♡

☆「ぼくくん」を物扱いすると、おねえさんのペニスは硬く滾る。口づけの間に漏れる吐息は短く引き詰まり、もはや局部のぶつかり合う音がもっとも高く響いている。

(21:59)

もうぼくくんただの据え付け便器、んぶちゅ♡ 起きて身支度して朝ご飯食べて♡ 夜じゅう煮詰めた精巢汁っ、ん、んん♡ あむ、ぷちゃ♡ ぼくくんの中にぶぴっ♡ ぶぴっ♡ ちゃんとコキ出しゴミ捨てしてから出かける♡ 帰ってきたら汗蒸れぬちゃぬちゃおボッキマラ、ふむ、んぐっ、うあ♡ 煮溶けたガキマンコでほかほかあっため、レイプっ、最初っからゴリバキに肥ったチンポで、んおっ♡ おお、お、おむぐっ、ぶちゅっ♡ 柔らかか肛門おっぴろげセックス、しちゃう、うっう～～、うっ♡

☆もはや不随意に反応を返すばかりの「ぼくくん」に難癖をつけ、半狂乱の体で笑うおねえさん。肉竿に満ち始めた絶頂感で、背筋が緊張する。

(22:53)

あっ♡ あっ♡ ああっ♡ いけないんだあいけないんだあいけないんだあ～～♡ ぼくくんマンコにちにち腸肉ねじって、う、っほお～っ♡ お♡ チンポぴったり、吸い上げちゃった、あはっ♡ チンポ挿れてもらいながら次のチンポのこと考えちゃった、はふ、んぐちゅ、ぶああ♡ このクソビッチ、っ♡ おら、おらっ、悪ガキ肉壺穴っ、おねえさんがやっつけてやるっ、あは、あははは、ぐぶちゅっ♡

☆おねえさんはもはや野卑な快感の前に倫理を投げ捨ててしまう。誇らしげにペニスを伸長させ、今一度膣内をぐりとかき混ぜる。

(23:39)

ん♡ っふふ♡ う♡ お前だってわかってんだもんっ♡ オス、ガキいっ♡ むふ、っちゅ、くちあ♡ オスガキは孕まねーから罪悪感なしできもち、い♡ ～、っ♡ だけ、のお、ナマパコセックスできるって知って♡ っぐ、うん、っふっ♡ そんな全身ケツマゾフェロモンまき散らして、んすっ、んす～～、うっ♡ ああああっ♡ マンコくせえんだよガキのくせにっ、ガキのくせに、マンコやわらけっ、おっおお、お♡ ～っ、おほっ、キンタマぎとぎとしてきたっ、上がって、きたああ……♡

☆おねえさんは総身で前傾し、腹筋を強直させて腰を打ちつける。有無を言わせない声色で、「ぼくくん」の膣内に射精する強い意志をあらわにする。

(24:30)

ふーっ、ふっ、ふう♡ ……ぼく、くん♡ ケツごと抱えてパコ腰振って、んぐっ、出す、出す、あ～～、ナカに種、種々種々種々、濃厚キンタマ子種、汁♡ んじゅるっ、んふ、おらガキっ、マンコに出される準備、しろ、むぶっちゅ、ぶちゅ♡ んう、ゼリーみてえなくっせえ体液、ゆるケツ口から直腸マンコの折れ曲がったとこまでぶりっ♡ ぶり、い、っひいっ♡ っぐ♡ おねえさん遺伝子捨ててっ、嘔いてっ、コキ出し、ってっ、そんで最後はあ～……♡

☆「ぼくくん」が抵抗などできないことを知っていて、にたりと口角が裂けるように笑うおねえさん。ペニスはすでに絶頂に連なる脈動を始めてしまっている。

(25:24)

と・こ・ろ・で・ん♡あっ身体びくってしたあ♡ ぼくくん大好きマゾケツアクメ♡ 粗チン裏側ぽっこりケツ膣雑魚イクスイッチ、おねえさんのぶっ濃い睾丸汁で撃って貫通♡ ん？ ダメだよ、抵抗ダメ、それダメです♡ 決定♡ ぼくくんはおねえさんを優越感に浸らせるために、ケツ穴突かれておちんちんがぴゅーっ♡ 白旗を上げてしまいます♡ おもしろいね♡ ザコだね♡ 負けちゃうね♡ そしてもうおねえさんのふとふとチンポはどっくん♡ どっくん♡ 尿道にザーメンを上げちゃっています♡ だから.....イケ♡

☆おねえさんは全精力を嬌声として、体液として放出する勢いで抽送を繰り返す。もはやなりふりは構ってられず、あまりに無様な断末魔を残して、射精してしまう。

(26:26)

おらいけっ♡ イけ、イってガキ穴締めろっ、ふんぐっ、ぐう、うゝ、～っ♡ おおおっチンポ引っこ抜、げりゅっイぐっイっぐっ♡ うっせえ喘ぐなっ、口塞いで、やる、かぷちゅ、くぷぷ、んべえ、えへっ♡ ちゅーしてやっからおねえさんにきもちよ～くイぐ～～♡ って言わ、ひえろ、んむ、うあ♡ ほらここの膨らんでるとこだなっ♡ ここに出す、っから、チンポ穴当てて、びく、びく.....んう、ぺちや、ぷちや、っイぐ、むぢゅっ、んおっんおおっ♡ はむちゅっ、む、っぐぐう～～～っ♡ぶぐう♡

☆おねえさんは四肢をこわばらせながら、「ぼくくん」にたっぷりと精を注ぎこむ。相手の都合をおかまいなしに獣じみた吐息を吹き続け、「ぼくくん」を窒息させる。

(27:22)

っふ———うゝ♡ ふう———、っっ♡ んゝ♡ ぐ、っぢゅ、ふうう、～～っ♡ うゝっ♡ ぶぢゅ、っぷあ、出るう～～、うう♡ チンポ穴、ふーっ、ぐぱぐぱ開けて締めて、射精っ、しゃせ、ひい、んぷちゅっ、ぐぷっ、んんう～～っ♡

☆噴精の勢いとともに一気に緊張が緩み、おねえさんは虚脱した声色で「ぼくくん」を労わってみせる。玄関を満たす熱気が媚薬のようにしみこんで、脳を痺れさせる。

(28:06)

ぼ～くくん、つん、つんっ♡ あ～～脳みそメスアクメから戻ってこれなくてふわふわだね～♡ いっぱいどびゅーっ♡ 出されちゃったもんねえ♡ またおねえさんとぼくくん、セックスしちゃったあ♡ オチンポ、抜くよお.....ぬ、ぽんっ♡ うわ、おサオがずるって抜けたとたん、おけちゅがきったねえ音で交尾汁漏らしちゃった♡ くっせ♡ またおねえさんのおうち、おねえさんのキンタマ袋の中とおんなじにおいになっちゃうよお.....♡

☆喉の引きつる笑みとともに、「ぼくくん」の耳元で唇を開くおねえさん。隠しきれない喜悦を帯びた声で、「ぼくくん」の未来を閉ざしていく。

(29:00)

あれ、でもこの水っぽいにおいは、ふふ、ふへっ……ぼくくん♡ おちんちん♡ ところてん♡
ぴゅー♡ ……おねえさんに命令されたから♡ おねえさんにおけちゅ♡ ガン掘りされて、肛門痙攣させて、直腸マンコにあっついせーしが広がって、ぴゅう……♡

(29:34)

ごめんね、おねえさんいっぱいひどいことしちゃったよね♡ ちょっとえっちな気分になっただけで、ぼくくんをおうちに連れこんで、レイプ♡ 本当にごめんね……でも♡ わかってんのか？ ぼくくんはそれ以下♡ ちょっとキンタマムラついたくらいで身体押さえつけられてハメ穴ほじられていじめられて、それでもおちんちんは負けちゃった～、え～～ん♡ って降参、白旗、ぴゅー♡

☆ぞっとする言葉の冷たさとは裏腹に、おねえさんの声は弾む。再びペニスが脈を打つと、おねえさんは「ぼくくん」を、力を強めて抱き締める……

(30:12)

もう人間じゃないんだね、ぼくくん♡ 便器♡ お尻が便器になっちゃった子なんて、おともだちからも、お母さんもお父さんからも捨てられちゃう♡ 当たり前♡ だってぼくくんケツ穴が交尾のお汁でぶくぶくしてる♡ きたない♡ くさい♡ でもおねえさんだけはぼくくんを大事にしてあげる♡ 朝から晩までオチンポハメててあげる♡ 嬉しい♡ 嬉しい♡ ぜーんぶ捨てておねえさんだけのものになっちゃって、身体がドキドキしてる♡

(31:01)

嬉しいか？ 嬉しいな？ おねえさんの言うこと聞かないと捨てられちゃう肉便器なんかになって人生終わっちゃうの、嬉しい～……だったらイケ♡ まだケツマンコ粘膜デカマラの余韻でくぱくぱしてる♡ それ全部ちんちんの裏側に集めてお便器汁ぴゅう♡ 手放しコロテンで完全便器♡ おねえさんのこと好きだったらできる♡ できなかったらおねえさん、お前のこと好きじゃない♡ ほら、ほら、ぎゅってしてあげるから、イケ♡ さんはい♡ 人生終了ケツ穴便器～～……ぎゅっ♡